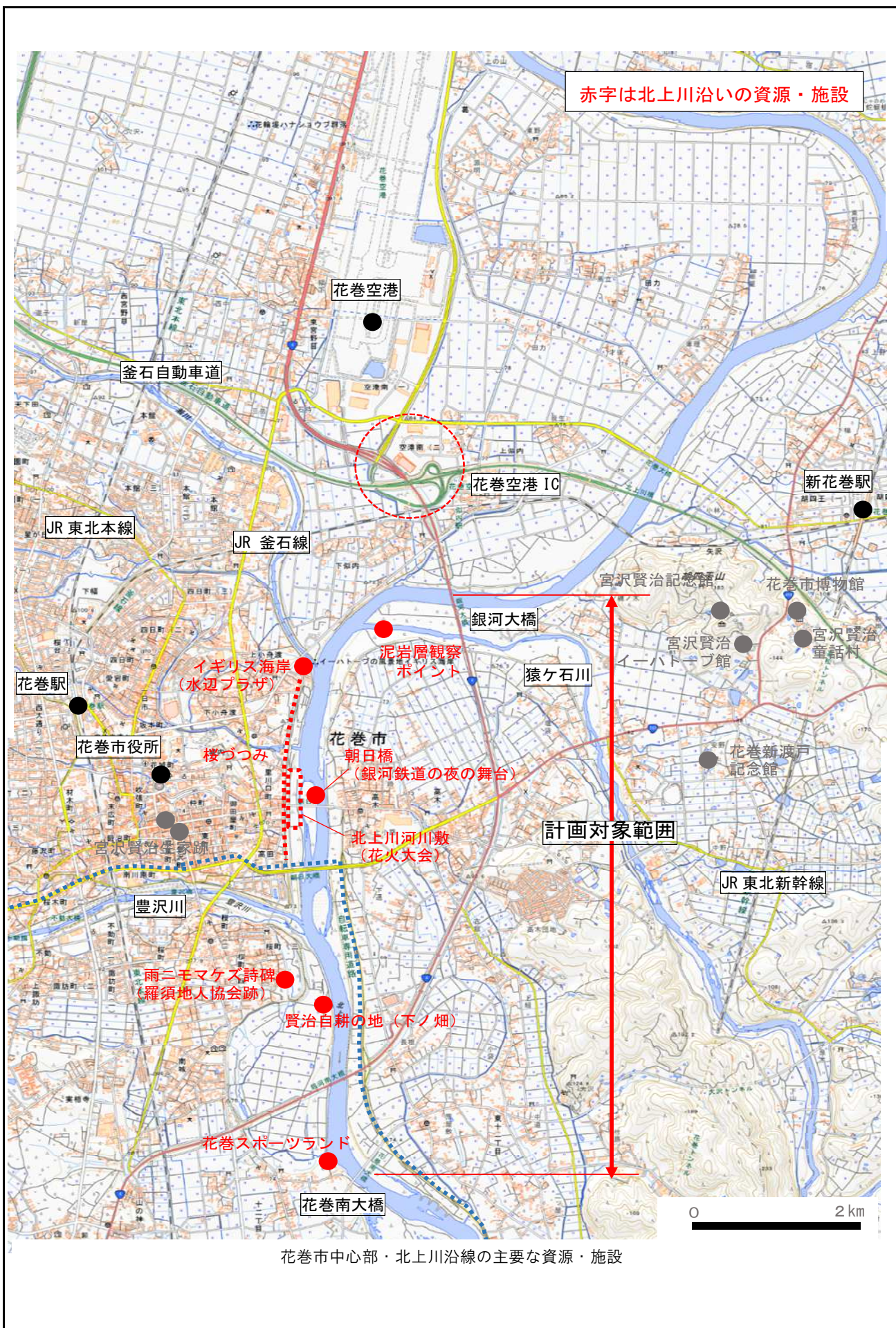


<様式2>

かわまちづくりの概要

1.市町村等の概要							
① 都道府県名	岩手県						
② 市町村名	花巻市						
③ 人口	90,341 人	(令和6年6月時点)					
④ 面積	908.39 km2						
〔市の特色〕							
○ 花巻市は岩手県のほぼ中央に位置し、総面積は908.39㎢、西に奥羽山脈、東には北上高地の山並みが連なる肥沃な北上平野に位置する。北東部には標高1,917メートルで、北上高地の最高峰の早池峰山がそびえる。国定公園であるほか高山植物の宝庫として知られ、全国から登山客が訪れる。							
○ 市の中央を北上川が流れ、東西から稗貫川(ひえぬきがわ)、猿ヶ石川(さるがいしがわ)、豊沢川(とよさわがわ)等の支流が合流しており、渓流釣りの絶好のポイントとなっている。							
○ 市内には岩手県内唯一の空港である花巻空港があり、東北新幹線新花巻駅や東北自動車道、東北横断自動車道などの高速交通網が整備されるなど、北東北の高速交通網の結節点となっている。							
○ また、宮沢賢治や萬鉄五郎などの世界的に知られる先人を輩出するとともに、鹿踊りやユネスコ無形文化遺産である早池峰神楽などの郷土芸能、日本三大杜氏のひとつ南部杜氏、さき織り、ホームスパン(紡毛織物)等の優れた技術が多く伝えられている。							
○ 市の西部には、奥羽山脈の渓谷沿いに湧き出る花巻温泉郷があり、周辺は県立自然公園に指定され、宮沢賢治の関連資源と並んで花巻の観光を支えている。花巻市は観光客の年間入込数が200万人を超える観光都市(イベント入込を含む)だが、コロナ禍によってかなり減少した。しかし、令和5(2023)年度には、ほぼコロナウイルス感染症が流行する以前の水準に戻ってきている。							
花巻市内の主要な観光施設の入込者数の推移							
新型コロナウイルス感染流行							
観光地点等名	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
花巻温泉郷	1,030,417	976,561	1,005,314	697,478	743,698	856,377	1,001,263
宮沢賢治記念館	116,915	111,041	126,147	57,551	46,388	81,029	110,125
宮沢賢治イーハトーブ館	26,236	24,930	28,904	16,082	13,179	23,268	30,207
宮沢賢治童話村	96,410	97,840	117,835	61,514	53,750	87,377	102,070
高村光太郎記念館	13,587	14,239	10,683	6,291	4,088	8,396	8,604
花巻新渡戸記念館	13,349	12,398	12,852	5,207	5,098	6,928	8,920
花巻市博物館	14,228	17,261	19,060	7,696	11,782	11,721	33,565
花巻広域公園	87,843	87,350	84,891	78,594	84,553	81,436	62,318
鉛温泉スキー場	9,750	11,626	7,868	5,630	9,853	12,518	11,844
石鳥谷アイスアリーナ	18,153	16,714	15,849	9,226	6,422	6,488	8,979
盛岡南ゴルフ倶楽部	31,728	28,612	30,270	31,077	35,174	38,096	38,832
酒匠館	39,603	47,748	48,322	30,823	23,580	30,604	56,685
「早池峰と賢治」の展示館	7,250	6,889	7,472	3,504	1,746	3,143	5,456
ワインシャトー大迫	44,186	47,470	38,644	21,411	16,424	16,730	18,837
萬鉄五郎記念美術館	12,298	16,987	16,900	2,988	6,927	12,487	8,702
東和 B & G 海洋センター	5,645	13,169	9,588	3,664	2,953	6,396	5,547
	1,567,598	1,530,835	1,580,599	1,038,736	1,065,615	1,282,994	1,511,954
出典：花巻市統計書（平成30年版～令和6年版）							



2.河川の概要

① これまで実施済みの関連施策

〔北上川河川敷〕

- 北上川右岸河川敷の朝日橋の上流～下流の区間を市が占有して北上川河川敷としている。
- 都市公園としての位置づけはなく、草刈りなどの管理を原則利用者が行うこととしている。
- 花火ファンタジー（花火大会）などの大きなイベントの会場となっている。

実施場所： 北上川水系北上川 里川口町地区

施策目的： 河川利用の推進

事業期間： H22年～(占有継続)

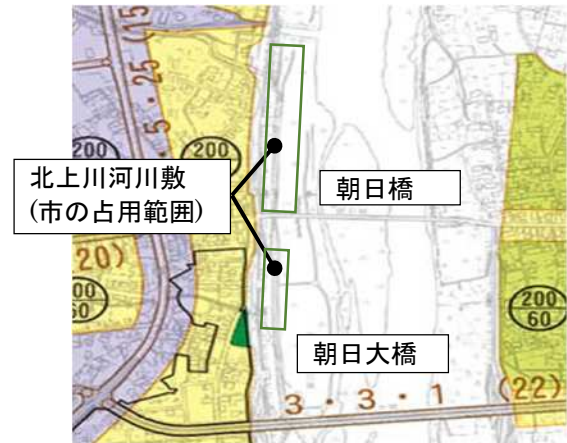
登録年度： H22年登録

事業主体： 花巻市

整備内容： 河川敷の占有



北上川河川敷



右岸河川敷を市が占有

〔桜づつみ〕

実施場所： 北上川水系北上川 上小舟渡周辺地区

施策目的： 河川利用の推進

事業期間： H2年～H10年

登録年度： H2年登録

事業主体： 花巻市

整備内容： 桜づつみモデル事業として河川管理者と花巻市の協働により、北上川右岸にはイギリス海岸をスタート地点に1.2kmに渡り遊歩道と桜並木が整備されている。



北上川桜づつみ

関連URL： <https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/forefront/zimoto/sakura/0001.html>

〔北上花巻温泉サイクリングロード(岩手県道501号北上花巻温泉自転車道線)〕

実施場所： 花巻温泉～北上展勝地(北上川水系北上川沿いも通過)

施策目的： 河川利用の推進

事業期間： S48年～S54年

登録年度： S54年登録

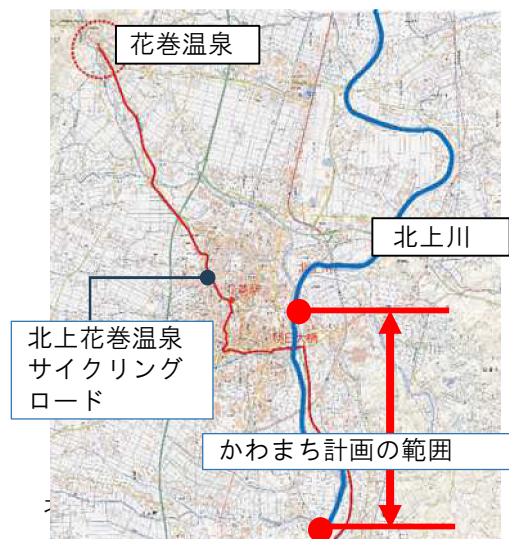
事業主体： 花巻市

整備内容： 岩手県が管理する、北上市から花巻温泉までの約26kmの自転車道。かつての花巻電鉄の軌道跡や北上川の堤防道路を活用している区間がある。



北上花巻温泉サイクリングロード

出典：河北新報社提供



〔花巻水辺プラザ〕

実施場所： 北上川水系・北上川・瀬川 小舟渡地区

施策目的： 河川利用の推進 河川教育

事業期間： H11年

登録年度： H13年登録

事業主体： 花巻市

整備内容： 水辺プラザの整備は、市町村にある水辺の魅力を最大限に引き出す整備により、そこを訪れたくなるような、地域交流の拠点となる「にぎわいある水辺」を創出するものとして実施されている。河川管理者と花巻市の協働により「花巻水辺プラザ」が整備され、平成13年に登録されている。花巻水辺プラザでは、イギリス海岸を中心に多くの人たちの憩いや交流の場とするために、花巻市の公園や桜づつみを結ぶ水辺の散策路や坂路、階段、船着場、トイレ等を設置した。

関連URL： <https://www.thr.mlit.go.jp/kasen/plaza/kasenkankyouseibi/jigyo/501/501.htm>



花巻水辺プラザ案内図

水辺プラザの瀬川には小舟渡橋より下流に階段護岸が左岸、右岸に整備されている。自然石張りとなっているが、基礎に近いステップが陥没したり、湾曲したりして老朽化が目立っている。



陥没したステップ（右岸）



上段のステップはコンクリートで改修。下段のステップは湾曲している（左岸）



階段護岸の位置

〔ウォーキングトレイル事業〕

実施場所： 北上川水系北上川・豊沢川 花巻市中心部

施策目的： その他

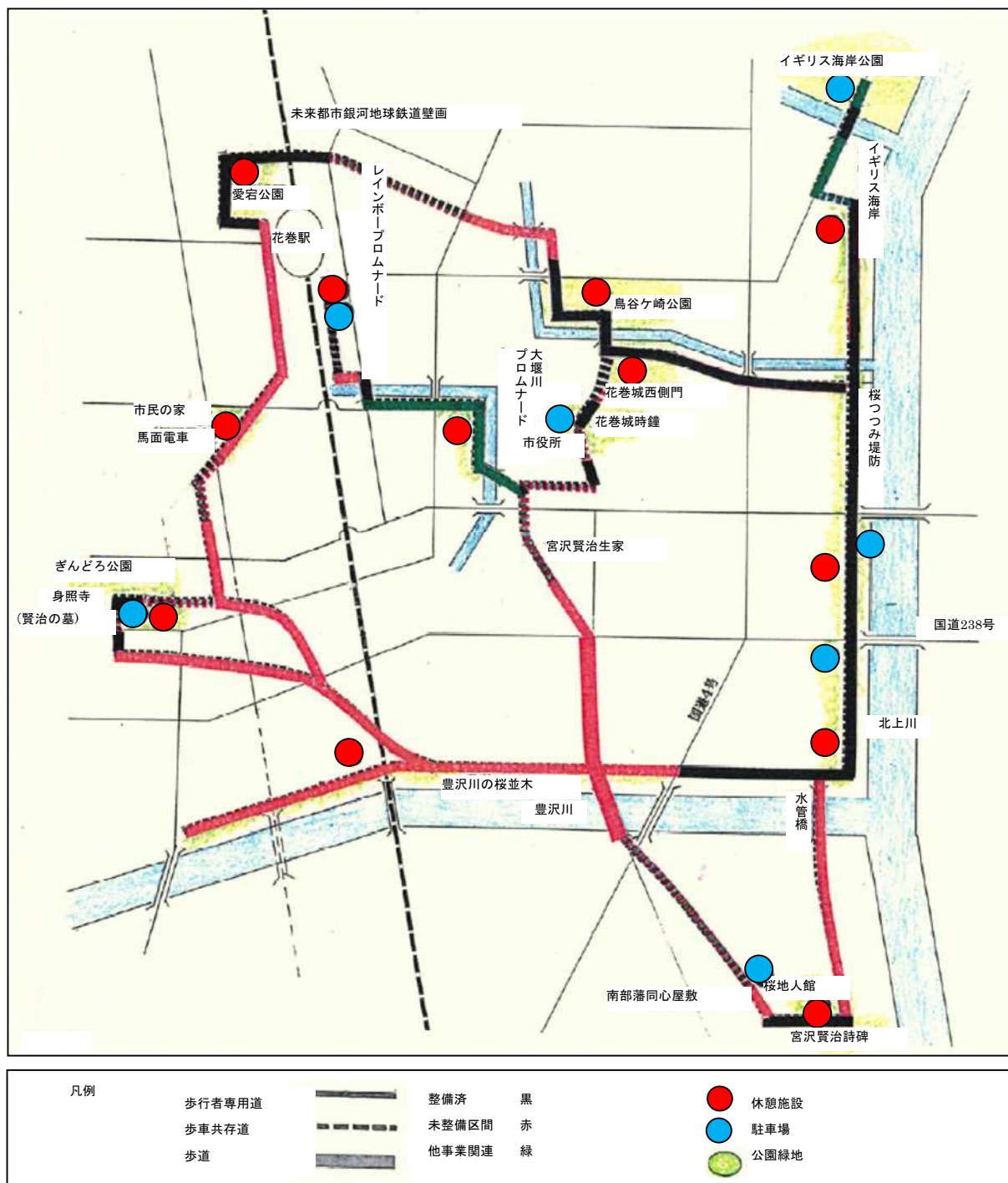
事業期間： H8年～H19年

登録年度： H8年登録

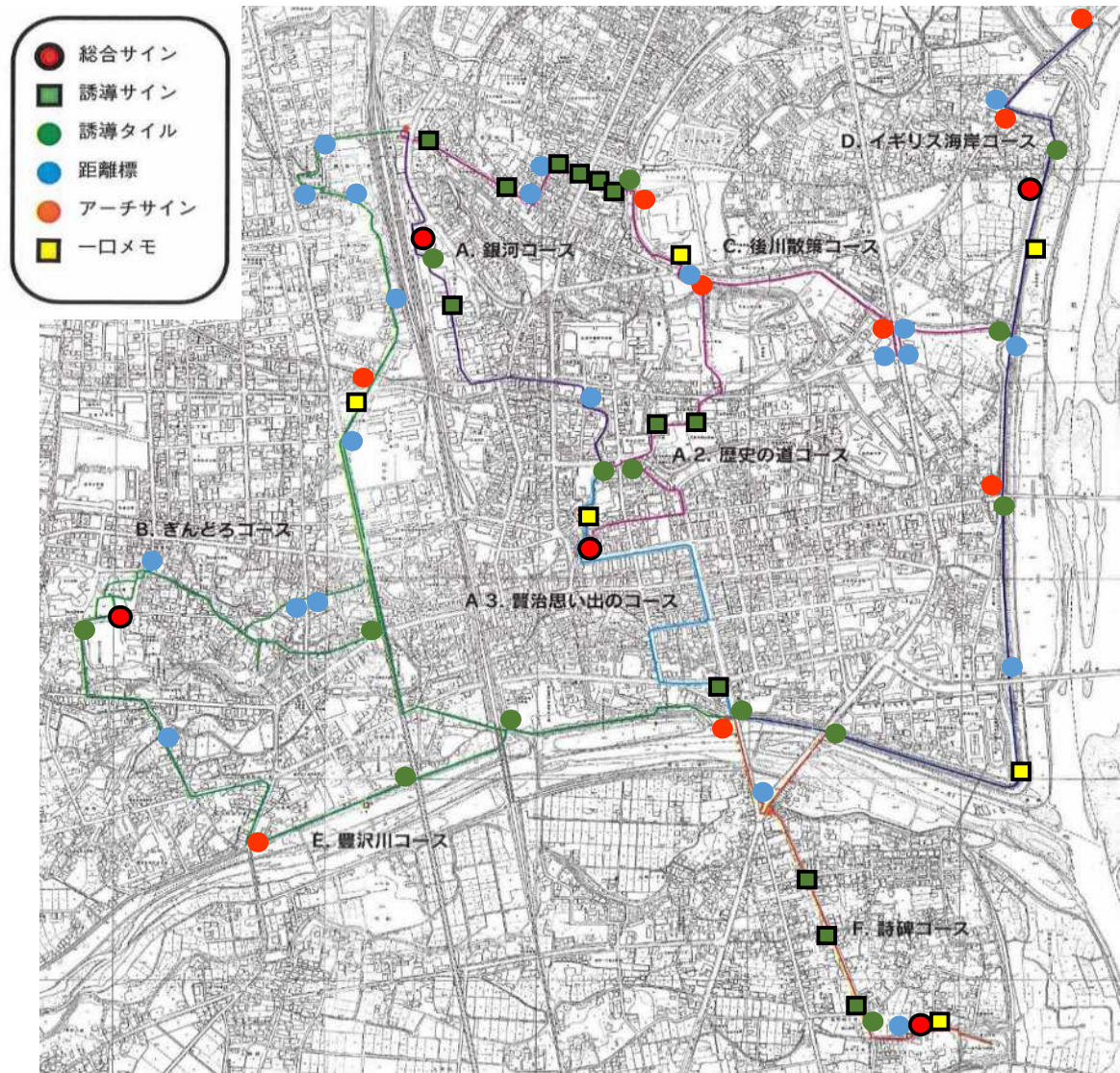
事業主体： 花巻市

整備内容： 「賢治さんと歩く心象ロード」をキャッチフレーズにウォーキングトレイルを整備した。
具体的には歩行者専用道、歩車共存道、歩道を整備して、歩行者道路のネットワークをつなぎ、案内サイン、ベンチやパーゴラなどの休憩施設、トイレ等を整備した。

関連URL： <https://www.thr.mlit.go.jp/road/sesaku/dourohojo/03/22/22.htm>



ウォーキングトレイル事業計画図



コースルート・誘導サイン、案内板配置図



ベンチ



休憩施設



心象ロードの名称を記載したアーチサイン

② 市民や民間事業者による河川利活用状況

〔一般市民参加型イベント:花火ファンタジー(花火大会)〕

- 宮沢賢治の精神を次代の子供たちに伝えることを願い始まった夏のイベント「イーハトーブフォーラム」の一環として、イーハトーブフォーラム実行委員会主催の花火ファンタジー(花火大会)が朝日橋～朝日大橋間の右岸河川敷で中洲を打ち上げ場所として開催されている。北上川河川敷の堤防と高水敷を観覧席として利用しており、一部を有料席として運営費に充てている。
- 令和2(2020)年、令和3(2021)年はコロナウイルス感染症の流行拡大により中止となったが、2022年より再開されている。



「イーハトーブフォーラムin HANAMAKI2022」
の「花火ファンタジー」の様子



「イーハトーブフォーラムin HANAMAKI2024」
の会場の様子

出典：左）東北のまつりポータルサイト（東北六県商工会議所連合会が運営）

〔愛好家参加型イベント:デコトラ撮影会〕

県内のトラック愛好家が集まって、デコレーショントラックの撮影会が朝日橋～朝日大橋間の右岸河川敷で開催されている。愛好家団体の「飛勢會（とばせかい）」が主催し、2015年～17年、19年、22年の夏に実施した。



デコトラ大会の様子(北上川河川敷)

出典：岩手日日新聞(2019年7月15日)

〔消防演習〕

市消防本部の主催で毎年開催されており、朝日橋～朝日大橋間の右岸河川敷で纏振りやカラー放水等の訓練が披露される。



消防演習の様子(北上川河川敷)

〔市民の個人的活用〕

- ・ 通年での散歩、ランニング、犬の散歩
 - ・ 春の桜の時期の散歩
 - ・ 冬の河川敷でのクロスカントリースキー
 - ・ 冬の河川敷での凧揚げ
 - ・ 冬の堤防法面でのそり遊び
- などがある。



北上川桜づつみ

出典：花巻市

〔人々と北上川の関わり〕

- かつては流域で生産された米を舟運により石巻から江戸に運んでいましたが、現代ではそうした舟運は利用されなくなっている。
- 花巻地区での現在の水辺の利用としては、花巻スポーツランドが動力船やカヌーを使って水上レクリエーション体験を提供している。また、堤防の遊歩道における散策や犬の散歩、ジョギングといった日常利用、桜づつみにおける花見、北上川河川敷における花火ファンタジー（花火大会）などのイベント、北上川支流の溪流における釣りなどが挙げられる。

〔民間事業者によるレクリエーション活用：水上および河川敷でのレクリエーション〕

- 任意団体「北上川フィールドライフクラブ」が花巻スポーツランドを拠点として様々な体験を提供している。北上川でのカヌー・ボートを使った川下り、十二丁目沼でのカヌー・ボート体験、河川敷でのトレーラーを使ったフィールド探索などを体験することができる。修学旅行団体など市外からの利用者が多く、SNSで情報を得た外国人が来訪することもある。



泥岩層の観察(北上川・猿ヶ石川合流部)



カヌー・ボート体験(十二丁目沼)



「かっぱ天国」入水スタート(水辺プラザ船着場)



「かっぱ天国」川流れ体験(水辺プラザ船着場周辺)



三輪バギー&ミニバイク体験
(花巻スポーツランド周辺)



トレーラーを使ったフィールド探索
(花巻スポーツランド周辺)



ソリによる雪上体験



三輪バギーによる雪上体験
(花巻スポーツランド周辺)

〔花巻スポーツランドの代表的な水上アクティビティ〕



①銀河大橋たもと右岸の船着き場の無い河岸から出発



②動力船でゴムボートを牽引



③支流の猿ヶ石川に入って泥岩層を観察



④北上川における泥岩層の観察とカワセミの巣などの説明



⑤朝日橋周辺の早瀬の区間では動力船から切り離してゴムボートの手こぎ体験

花巻スポーツランドの代表的なアクティビティの一つとして、動力船でゴムボートを牽引して、ゴムボートでおよそ2時間の北上川の川下りを楽しむという体験がある。



⑥花巻スポーツランドの船着き場でゴール

〔宮沢賢治関連の活用〕

＜イギリス海岸＞

- 宮沢賢治は、北上川西岸に青白い凝灰岩の泥岩が川に沿って広く露出していたため、そこに立っていると「イギリスあたりの白亜の海岸を歩いているような気がするのでは」と作品に記しており、「イギリス海岸」と名付けた。現在のイギリス海岸は、河床が低下したこと等により、平時は泥岩層を見ることができなくなっている。この泥岩層は、近辺に広く存在しており、北上川支流の猿ヶ石川に入ると水位が低いために泥岩層を見ることができる。
- 国の名勝に指定されている「イーハトーブの風景地」の一つであるイギリス海岸を中心とした花巻水辺プラザでは、市民団体「ドーバーファーム市民の会」が景観維持のため、花壇の整備や除草等のボランティア活動を行っています。宮沢賢治に関するパネル展やドーバーファームで栽培した野菜の収穫祭などのイベントを開催し、地域住民や観光客が北上川に親しみを持ってもらうための活動を展開している。



宮沢賢治に関するパネル展の様子(イギリス海岸)



出典：岩手河川国道事務所

＜イギリス海岸の水位低下による泥岩層出現の試み＞

- 平成19(2007)年より、ダム管理者(国土交通省、岩手県)と発電事業者(岩手県、東北電力(株)、電源開発(株))と沿川自治体(花巻市)が協力して、発電で使う水を減らし、川の水位を調整して、賢治の命日である9月21日に泥岩層を露出させる試みを行っている。これまで、10回試みを実施し6回の出現に成功している。

これまでの出現状況

H19年	降雨による水位上昇のため中止
H20年	実施したが出現せず
H21年	出現成功
H22年	実施したが出現せず
H23年	降雨による水位上昇のため中止
H24年	出現成功
H25年	降雨による水位上昇のため中止
H26年	出現成功
H27年	降雨による水位上昇のため中止
H28年	出現成功
H29年	降雨による水位上昇のため中止
H30年	一部出現
R元年	出現成功
R2年	実施したが出現せず
R3年	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
R4年	降雨による水位上昇のため中止
R5年	出現成功
R6年	降雨による水位上昇のため中止



2016年(平成28年)

出典：「宮沢賢治がこよなく愛した北上川イギリス海岸」パンフレット(岩手河川国道事務所・花巻市)に一部加筆

イギリス海岸(水位を調整して泥岩層を出現させた)

＜朝日橋及び朝日橋周辺＞

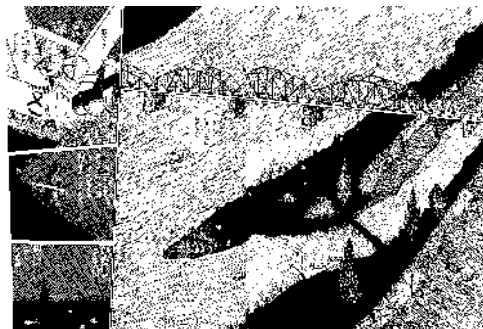
- イギリス海岸の下流に架かる朝日橋は、宮沢賢治が亡くなる1年前の1932年に開通し、当時周辺では珍しいワーレントラス橋であったことから、「銀河鉄道の夜」の中で描写した大きな橋のモデルとされている。また、付近の中州は、主人公が友人カムパネルラを捜索した場所のモデルとされている。

〔「銀河鉄道の夜」と朝日橋〕

銀河鉄道の夢からさめたジョバンニは、母親のために牛乳を受け取り家へ急ごうとします。「・・・みちは十文字になってその右手の方の通りのはずれにさっきカムパネルラたちのあかりを流しに行った川にかかった大きな橋のやぐらが夜のそらにぼんやり立ってゐました。」という、この大きな橋のモデルは朝日橋で、昭和7年に完成しました。この文章は、賢治が最後に書いた部分に含まれますから、時期的に矛盾しませんし、工事は長くかかっていましたから賢治は工事中にも見ているでしょう。北上川にかかるこの橋はワーレントラス橋と言って、鉄骨でやぐらを組んだみたいな外観を持っています。かけかえ前の朝日橋が、欄干のついた昔ながらの木橋だったので、新橋の鉄骨のやぐらが特に目立ったのです。

「ぼんやり立って」いたという表現に、ジョバンニの心にきざした不安感、悲劇の予感のようなものが感じられますね。橋に近づくにつれて、それは的中し、人だかりがみえ、人々は子供が水に落ちたと話しているのです。

ワーレントラスなどトラス橋といわれる三角形を組み合わせたやぐらのような橋は、ヨーロッパで生まれ世界中に広がりました。ジョバンニの街が欧米風なので、賢治はこの橋を物語に入れたのです。



漫画「銀河鉄道の夜」で描かれた朝日橋

出典：「銀河鉄道の夜」原作：宮沢賢治
作画：ますむらひろし 発行：風呂猫

出典：賢治メルヘンの街・花巻ガイドブック(花巻商工会議所)

＜豊沢川＞

- 朝日橋の下流で北上川に合流する豊沢川は、宮沢賢治が子どもの頃から格好の遊び場としており、童話「さいかち淵」や「風の又三郎」において原風景として描かれている。

出典：IHATOOV 宮沢賢治・花巻市民の会



豊沢川 さいかち淵周辺

＜下ノ畑＞

- 北上川と豊沢川の合流部より下流には、賢治自耕の地とされる「下ノ畑」がある。下ノ畑は、長く荒地になっていたが、2007年に市民団体「下の畑保存会」によって再生された。



賢治自耕跡地「下ノ畑」は下の畑保存会によって維持管理されている

＜羅須地人協会＞

下ノ畑から少し内陸に入った所には、宮沢賢治が自炊し農民に農業技術や農業芸術論などを講義するために設立した私塾「羅須地人協会(らすちじんきょうかい)の跡地」があり、現在は雨二モマケズの詩碑が置かれている。羅須地人協会の建物は、花巻空港近くにある花巻農業高校に移築復元され、修学旅行生や学術研究者等を対象とした見学施設として高校と同窓会によって管理されている。入口の黒板に書かれている「下ノ畑ニ居リマス 賢治」の下ノ畑は上記のように、現在、元の位置に復元されている。



花巻農業高校に移築復元された羅須地人協会
出典：「花巻の旅」(一財)花巻観光協会HP

〔中心市街地の活性化の取組〕

＜どでびっくり市＞

上町商店街でこれまで41回開催されている市。市内の商店が自慢の商品をびっくり価格で販売、海や山の幸、産地直送品が出店、先着者プレゼントやちんどん、吹奏楽演奏、ダンスパフォーマンスなどのイベントが開催される。



＜花巻中央エリア社会実験＞

市が使用申請等を支援し、民間事業者や学生の多様なアイデアが実現された。

【「花巻中央エリア社会実験2023」実施されたプログラム】

マルシェ（キッチンカー等出店）、スカイアンプレラ、おもちゃ広場、スケートボード、多言語ラジオ体操、青空まちライブラリー、たき火、道路ペイント、道路上でのバーベキュー、ストリート＆車いすハンドボール、かがり火をたいた神輿鑑賞会、花巻傘&成島和紙ランプシェイドによるライトアップ、親子まちなか探検、ストリートピアノ、人工芝の敷設による臨時パークレット など



まちなかBBQ



スケートボード



道路ペイント



花巻まちなかLiving



青空まちライブラリー



花巻おもちゃフェスティバル



ストリートハンドボール

〔主な市民活動団体〕

市民活動団体	活動内容
北上川 フィールドラ イフクラブ (約25名)	花巻スポーツランドを拠点として動力船でゴムボートを牽引する形での川下り、手こぎボート、ラフティング、カヌーなど幅広く川遊びのメニューを有料で提供。水上アクティビティの他に、農泊体験、三輪バギー＆ミニバイク体験、雪上ソリ体験なども提供している。   修学旅行や学校活動の受け入れ 出典：花巻スポーツランドHP
ドーバー ファーム市 民の会 (約8名)	イギリス海岸近くの畑で農作物を育成・収穫している。花巻水辺プラザで花壇の整備や除草、また宮沢賢治に関するパネル展や育てた野菜の収穫祭などのイベントを開催し、地域住民や観光客が北上川に親しみを持ってもらうための活動を展開している。   イギリス海岸近くにある農園で活動 収穫祭でふるまわれる芋の子汁 出典：まきまき花巻（花巻市）
下の畑保 存会 (約10名)	賢治自耕の地「下ノ畑」を再生し、作物や花を栽培している。案内板、賢治設計の花壇「涙ぐむ目」などを整備した。観光客の立ち寄り拠点となっており、大学研究室や修学旅行生にガイドを行うこともある。   スタッフと活動参加者 花壇「涙ぐむ目」の花の苗植え 出典：岩手県民交流センターHP（岩手県）

3.かわまちづくりの方針

① 地域における課題、必要性

1)水上アクティビティの利便性と魅力の向上

〔水上アクティビティを通じた花巻温泉郷との連携〕

「第2次花巻市まちづくり総合計画 前期アクションプラン」、「花巻観光振興ビジョン」では、観光の魅力向上のために、北上川の水上演習ティと花巻温泉郷を結びつけて滞在時間を延ばすことを重点プロジェクトに位置付けているが、注目度は高いものの、多様な利用者層を含む団体客等の受入れ施設が不足していることから利便性及び魅力の向上を図る必要がある。

(1) 船等のスタート地点(銀河大橋たもと)の利便性の向上

- 現状で使用されている川下りのスタート地点の銀河大橋たもとでは、主にボートなどが利用されているが、自然河岸からの乗り降りのため、利便性と安全性に欠けている。
- 多くの利用者を乗船させるためには、大型バスでの来場の可否が考えられる。現状は、駐車場や転回所のポテンシャルは有するものの、荒地地となっている。



船着場のない河岸からの発着



駐車場整備のポテンシャルが高い候補地(転回スペースも十分確保できる)

(2) 休憩地点の設置による魅力の向上

- 現状行われている川下りは、途中、泥岩層の観察や早瀬の手漕ぎ体験などの水上アクティビティが充実しているが、途中の休憩地点は川下りルート序盤の1箇所のみ(イギリス海岸付近)。約2時間の舟下りには、もう1箇所休憩地点がほしい。
- 休憩地点は、「ただ、船着き場があればいい」のでは無く、上陸した際に休息が出来たり、観光などが同時に出来るなど利用者が利便性・魅力を向上させる計画が必要。



水辺を見ながら座れるベンチのイメージ

(3) 船等のゴール地点(花巻スポーツランド近辺)の利便性の向上

- この川下りのゴール地点としては、花巻スポーツランド近辺にある船着き場が最有力であるが、その周辺には、更衣室やシャワー施設などが無く、今後、利用者数の増大を目指すためには、疲れた体を癒すような施設整備の計画が必要である。



シャワーの整備イメージ

水上アクティビティの利便性と魅力の向上のための川下り計画



2)北上川河川敷の利用環境の充実

(1) 既設の堤防法面の利活用

- 朝日橋上流部～朝日大橋の右岸河川敷では、毎年、県内屈指の花火大会が開催されており、堤防の傾斜を活かした観覧席の設置が望まれている。この堤防には既存の階段護岸があるが、消防署の指導により避難路と位置付けられているため、観覧席としての利用が出来ない状況にある。
- 同河川敷の利活用としては、その他のイベントでは、消防演習大会やデコトラ撮影会などがあり、将来的には、花巻市で構想のある河川敷で行われる様々な社会実験も計画されており、多くの観覧席が必要となる。
- その中でも、やはり、最も来場者数を集めるイベントは花火大会。花巻市で一時占用して整備する栈敷席には、来場者が先着順で利用されており、毎回完売している状態。1,700席の栈敷席は、あっという間に満席となる。
- R6年度来場者数は約2万4000人おり、全ての観覧席を用意することは難しくても、北上川河川敷の利用環境を充実させる必要がある。



白丸：既存の階段護岸の位置



北上川河川敷で開催される花火大会

出典：東北のまつりHP

(東北六県商工会議所連合会が運営)



イベント時、既存の階段護岸は避難路として確保するため、観覧席にはできない



堤防の小段に栈敷席を設けている

(2) トイレ設置のニーズ

- 当該河川敷近辺へのトイレ設置の要望がある。

(3) 一般車両が利用できる坂路が1か所(朝日橋下流右岸)

- 100台の消防車や大型車が集まる規模の消防演習が実施されているが、車両の出入口となる坂路が1か所しかないために、消防関係者より大型車が通行できる坂路増設についての要望がある。
- また、通常時も河川敷の利用者は多く、河川巡視等においても車両や人とのすれ違いの機会も多く、更に、イベント時には多くの車と人が錯綜して危険であり坂路の拡幅が必要。



坂路の幅 B=2.3m



2.3m坂路の入口

坂路に向けて幅員がグッと狭まるように見えるため、圧迫感がある

(4) 一般車両が利用できない坂路がある(朝日橋上流右岸)

- 朝日橋上流右岸に坂路があるが、普段堤防天端を多くの歩行者が利用していることから、現在は一般車両が利用できない(花巻市で安全上の理由から通行止めになっている)。
- 大きなイベント時には、事前に往路・帰路ルートの特ラシを配布するなどの周知を行うとともに、交通誘導員の配備を行うなど、安全対策を十分に行い、この坂路を利用する計画とする。



河川敷と堤防を結ぶ坂路が2か所あるが1か所しか一般車両が出入りできない

3)水辺プラザ(イギリス海岸)の改良

(1) 泥岩層の観察スポットの整備

- 水辺プラザは全国的に有名なイギリス海岸を見るために多くの観光客が訪れる観光地。
- 賢治がそう呼んだことで有名な「イギリス海岸」。かつては頻繁に泥岩層が露出していたが、河床が低下したこと等により、現在は余り見ることが出来ない。花巻の重要な観光資源であることから、ダム管理者(国土交通省、岩手県)と発電事業者(岩手県、東北電力(株)、電源開発(株))と沿川自治体(盛岡市、花巻市)が協力して、発電で使う水を減らし、川の水位を下げて、賢治の命日である9月21日に泥岩層を露出させる試みを行っている。
- このような水位操作により出現するイギリス海岸であるが、水量の少ない時期など、水位低下時については出現することもある。しかし、せっかく出現しても泥岩層を見れる視点場がごく一部に限られている上、河畔林などにより眺望環境にも優れていないため、観察し易い複数箇所の視点場の整備が望まれている。



出現する場所によっては見えづらい泥岩層



そもそも出現しづらいイギリス海岸
水位低下により出現する泥岩層



水位上昇によって泥岩層が見えないイギリス海岸



水位を低下させて泥岩層が出現したイギリス海岸

- #### (2) 瀬川左右岸に整備されている階段護岸はステップの段差が大きく、子供や女性に対しての利用しやすさも重視した構造への改良が望まれている。



水辺プラザの階段護岸

- #### (3) 公共用トイレは和式トイレであり、洋式化を求める声が多い。



水辺プラザ詩の森公園のトイレ



イギリス海岸付近さわやかトイレ

4) 日常的な水辺利用の活性化

〔日常利用が少ない〕

- 右岸堤防上には桜づつみとして、桜並木と遊歩道が整備されており、散歩・犬の散歩・ランニング及びサイクリングなどの日常的な利用が散見される。
- 一方で北上川が中心市街地の端に位置するため、多くの人で賑わう状況とはなっておらず、より多くの人に利用してもらえるようにしていくことが望まれる。



北上川桜づつみ

5) 宮沢賢治ゆかりの資源の効果的な活用

〔あまり知られていない賢治ゆかりの資源がある〕

- 賢治ゆかりの「イギリス海岸」は認知度が高く、多くの観光客が訪れる場所となっている。
しかし、賢治の作品「銀河鉄道の夜」に登場する橋のモデルとされる朝日橋周辺や、再生された「賢治自耕地『下ノ畑』」などは認知度が十分ではない。
- 花巻観光振興ビジョンでは賢治をはじめとする先人を学ぶツアーなど地域資源を生かした各種のプログラムの創出が謳われていることから、かわまちづくり計画でも、この資源を利用した賑わいあるかわまちづくりを目指す必要がある。



「下ノ畑」の栽培状況



「銀河鉄道の夜」に登場する橋のモデルとなった朝日橋



「下ノ畑」で整備された宮沢賢治設計の花壇「涙ぐむ目」

6) 「花のまち」としてのPR

- 「花巻観光振興ビジョン」では「花」が季節ごとに楽しめる場所や、花巻の良さを感じられるスポットが整備・周知され、多くの旅行者が訪れる状況を目指し、花巻を「花のまち」としてPRしていくことが重点プロジェクトに位置づけられている。花巻水辺プラザで実施されている市民団体による花壇の管理のような活動のさらなる展開が望まれている。



花巻水辺プラザで市民団体が管理している花壇

7) 花巻温泉郷と水辺の連携

- 「花巻観光振興ビジョン」では、ラフティングなどの自然体験や賢治をはじめとする先人ツアーなどの地域資源を生かした各種プログラムを創出し、温泉滞在と組み合わせることで魅力を向上させることが位置付けられている。
- 岩手県管理の北上花巻温泉サイクリングロードは、花巻温泉と北上川を結ぶルートとなっており、このルート上に「かわまち」「花巻温泉郷」「自然体験」「宮沢賢治」など、花巻特有の地域資源のサインなどを充実させることが出来れば、認知度向上に繋がる。
- 花巻市街地を含む「かわまち」と「花巻温泉郷」の観光ツアーが充実すれば、花巻温泉郷の利用客を花巻市内に呼び込めるため、市街地の活性化に大きく寄与する。



北上花巻温泉サイクリングロード

出典：河北新報社提供

② 市町村の地域計画や沿線地域のまちづくりの中での河川の位置づけ

【花巻市都市計画マスタープラン(H22策定、R4年一部改定)】

- 奥羽山脈・北上高地などの山々や北上川などの本市を形づくる骨格となっている緑については適切な保全を図る。
- 北上川など河川沿いの豊かな河川環境の保全、橋梁など構造物のデザインの配慮に努め、自然景観と構造物の調和のとれた河川景観の形成を図る。また、市街地においては親水空間の設置を促進するなど、良好な河川空間形成に努める。
- 生物の生息環境や自然景観の保全、親水性の向上などに配慮した良好な河川景観の形成に努める。
- 北上川とその支流の河川緑地の保全を図り、市街地内の河川沿いの歩行者空間の魅力向上を図る。
- 河川沿いの豊かな河川環境の保全、橋梁など構造物のデザインに配慮するとともに、市街地においては親水空間の設置を促進するなど、良好な河川景観の形成に努める。
- 水害防止のため、北上川をはじめとする河川の築堤や改修を促進する。

【第2次花巻市まちづくり総合計画 前期アクションプラン(R6策定)】

- 体験型観光と花巻温泉郷等への宿泊を組み合わせた滞在型メニューの整備。
- (仮称)北上川活用まちづくり事業(かわまちづくり事業)において「北上川活用に関する調査、検討」が位置付けられている。
- 魅力ある商業地域の形成を目指し、中心市街地の賑わいづくりを支援。

【第3次花巻市環境基本計画(R6策定)】

- 河川の定期的な清掃活動、モニタリングの支援、地域の団体への河川清掃の委託を継続し、河川の自然環境保全に取り組む。

【花巻観光振興ビジョン(H2策定)】(一社)花巻市観光協会策定

- ラフティングなどの自然体験、農業体験、健康づくり体験、賢治をはじめとする先人を学ぶツアー、雪に関連する体験プログラム等、地域資源を生かした各種のプログラムを創出し、温泉滞在と組み合わせることで魅力を向上させていくこととしている。

【花巻市立地適正化計画(R2策定、R5変更)】

- 「花巻リノベーションまちづくり構想」を通じてまちなかにおける働く場を創出し、都市機能の再構築に向けた公的不動産の積極的な活用を図り、公共空間を有効利用する取り組みとして社会実験を行っている。

〔掲載URL〕 第2次花巻市まちづくり総合計画 前期アクションプラン (R6策定)
<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/shisei/keikaku/1021821.html>
花巻市都市計画マスタープラン (H22策定、R4年一部改定)
<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/shisei/keikaku/1002806/1004837.html>
花巻市立地適正化計画 (R2策定)
<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/shisei/keikaku/1013016/index.html>
第3次花巻市環境基本計画 (R6年策定)
<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/shisei/keikaku/1002782.html>
花巻観光振興ビジョン (H2策定)
<https://www.kanko-hanamaki.ne.jp/report/article.php?p=820>

③ 地域活性化や賑わいあるまちづくりに対する市町村や民間事業者の考え方

- 水辺とまちを結びつけることによる地域活性化計画はないことから、これまで実施済の関連施策、市民や民間事業者による河川の利活用状況、地域における課題・必要性、市町村の地域計画や沿川地域のまちづくりの中での河川の位置づけを踏まえて、花巻地区かわまちづくり計画の基本方針を次のように定める。

〔花巻地区かわまちづくり基本方針〕

- 花巻地区かわまちづくりは、対象地の主要な資源を結ぶ北上川右岸の形状が北斗七星のように、花巻温泉郷がカシオペア座のように見えることや、花巻市ゆかりの偉人、宮沢賢治が星を題材とした作品を数多く残していることから「北上川・北斗七星プロジェクト(7つの輝きづくり)」と称し、7つの基本方針を位置付ける。

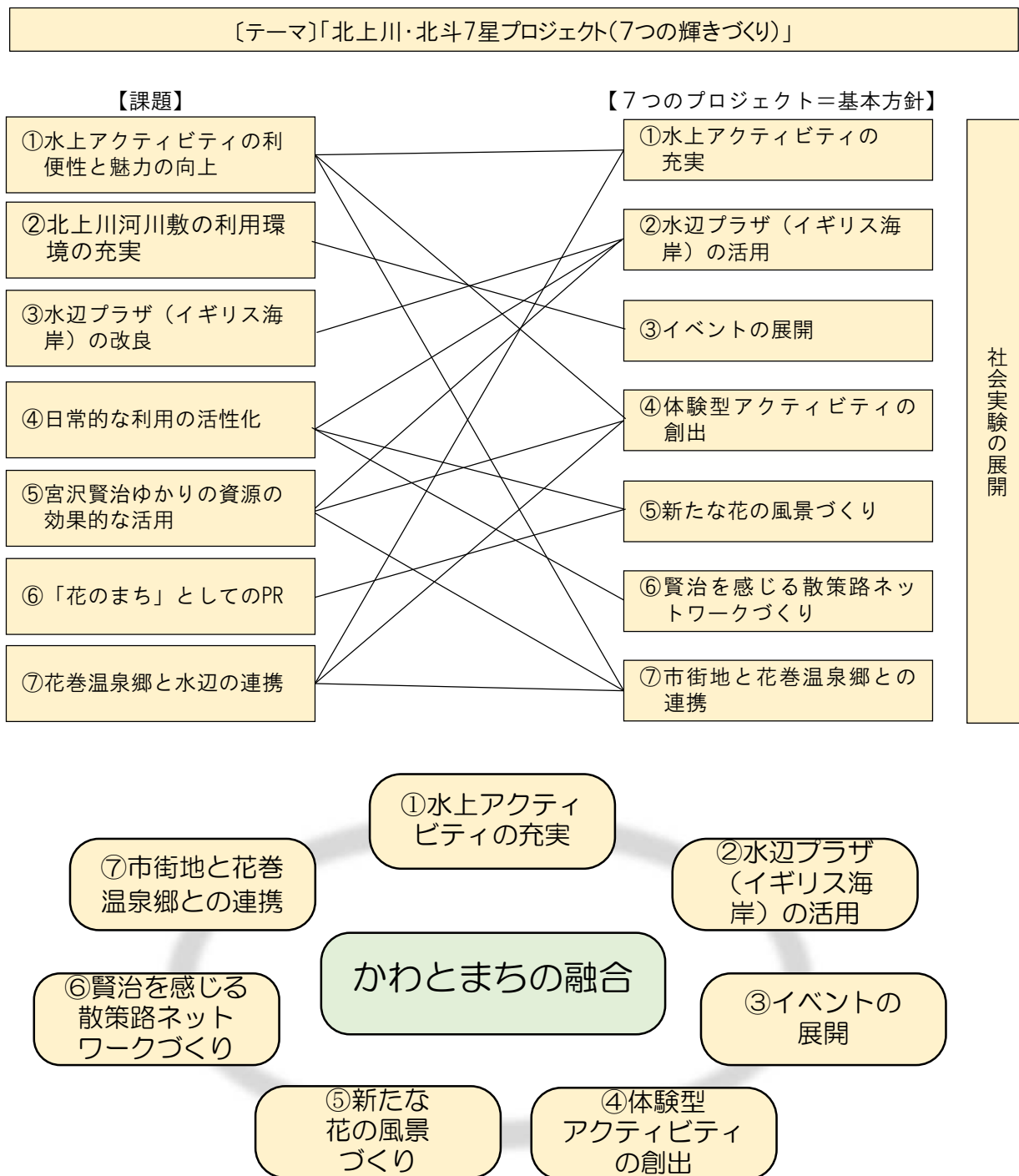
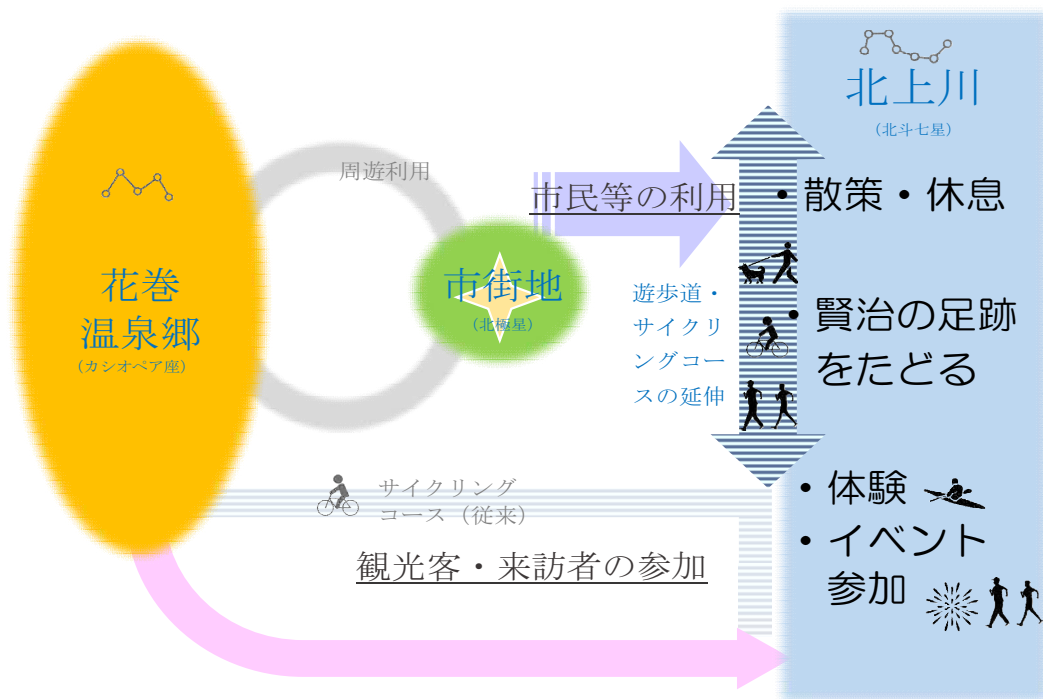


図 北上川・北斗7星プロジェクト（7つの輝きづくり）



七つの輝きと結ぶ市街地（北極星）・温泉街（カシオペア座）の事業推進イメージ



【カシオペア座】の見立て



【北斗七星】の見立て

④ 地域活性化や賑わいあるまちづくりに資する定量的目標

かわまちづくりを推進することで「交流人口」の拡大を目指す

指標	現状	目標値	設定の考え方・想定方法等
①水上アクティビティ利用者数	約700人/年 (R4年・花巻スポーツランド) 出典:花巻スポーツランド資料	1,000人/年 (R12年)	既存事業者の支援(修学旅行等の団体等の受け入れを容易にする船着き場、更衣室、シャワー等の整備)新規事業者の発掘等により約1,000人/年の利用者を目指す。 (観光客数 1,574,283(R4)を 2,223,473(H28(過去最高))並みに戻す。(1.4倍)
②北上川河川敷におけるイベント開催数	2回/年 (R4年) 花火ファンタジー・消防演習	5回/年 (R12年)	階段護岸や坂路の拡幅などの整備により、隣接する中心市街地の上町との新たな空間が形成され、中心市街地活性化のために現在行われているイベント(社会実験)と連携して行うことで5回/年以上の河川敷の利用を目指す。(花巻中央エリア社会実験の実施回数5回/年の実績より)
③花巻温泉郷と水上アクティビティなどを両方利用した利用者数	100人/年 (R4年・花巻スポーツランドにおける温泉郷利用者) 出典:花巻スポーツランド資料	200人/年 (R12年)	かわまちづくりを進め、水辺のアクティビティやイベントなどと温泉の利用者を結びつけることで、約200人/年の利用者を目指す。(花巻温泉郷と水辺体験をセットにした商品をつくることで倍増を目指す)
④観光環状バスの利用者数	5.1万人 (R4年) 出典:政策評価シート(令和4年度実績評価)	6万人/年 (R12年)	観光環状バス等について、賢治関連資源(イギリス海岸等)の魅力アップ、PRを強化することで約6万人/年の利用者を目指す。(令和4年度実績評価の目標値) ※賢治関連の観光資源は花巻市街地の広い範囲に分散して存在しており、これらをPRすることで将来的には様々なツアーが組まれ、観光環状バスの利用者増大が見込める。観光環状バス利用者数増大は、かわまちへ利用者の増大に繋がる。

4 .推進体制・取組内容

① 計画策定体制

計画策定にあたっては「花巻地区かわまちづくり計画策定に向けたワークショップ」においてワークショップを行いアイデア出しを行った後、「花巻地区かわまちづくり計画策定協議会」を組織して計画について協議した。

花巻地区かわまちづくり
計画策定協議会

花巻地区かわまちづくり
計画策定に向けたワークショップ

分野	団体名
学識者	富士大学
利活用	北上川フィールドライフクラブ、ミズベリング花巻
商工・観光	花巻商工会議所、花巻青年会議所、花巻観光協会 花巻温泉郷観光推進協議会
地域住民	豊沢町振興会、里川口自治会、小舟渡自治会
事務局	花巻市：商工観光部観光課、建設部道路課・都市政策課、生涯学習部賢治まちづくり課
アドバイザー	国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所

分野	団体名
利活用	北上川フィールドライフクラブ、ミズベリング花巻、ドーバーファーム市民の会、宮澤賢治「下の畑」保存会
商工・観光	花巻商工会議所、花巻青年会議所、花巻観光協会
地域住民	市民（公募等）
行政	花巻市：商工観光部観光課、建設部道路課・都市政策課、生涯学習部賢治まちづくり課 国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所

② 計画策定経緯

第1回花巻地区かわまちづくり計画策定に向けたワークショップ

日時 令和5年11月29日(水) 10:00～11:30
場所 花巻市役所本館 302・303会議室

■主な意見

- 【銀河大橋～イギリス海岸】
 - ・水上アクティビティの充実
 - ・河川空間への民間事業導入
 - ・花巻水辺プラザのリニューアル
 - ・イギリス海岸の“見える化”
- 【イギリス海岸下流部～朝日橋周辺】
 - ・河川敷における様々なイベントの実施
 - ・河川空間への民間事業の導入
 - ・共同作業での草刈りの実施



- 【朝日橋下流部～花巻スポーツランド】
 - ・食の体験
 - ・水上アクティビティの充実

第2回花巻地区かわまちづくり計画策定に向けたワークショップ

日時 令和6年2月29日(金) 13:30～15:20
場所 花巻市役所本館 302・303会議室

■主な意見

- 【銀河大橋～イギリス海岸】
 - ・銀河大橋たもとへの栈橋整備
 - ・イギリス海岸・水辺プラザの魅力アップ
 - ・泥岩層を見る機会の創出
 - ・イギリス海岸桜まつりの実施
- 【イギリス海岸下流部～朝日橋周辺】
 - ・朝日橋周辺の活用をまず考える
 - ・BBQイベント
 - ・トイレと駐車場の整備・階段護岸の整備



- 【朝日橋下流～花巻スポーツランド】
 - ・食の体験による下ノ畑の活用

第1回花巻地区かわまちづくり計画策定協議会

日時 令和6年7月5日(金) 14:00～16:10
場所 生涯学園都市会館(まなび学園)2階 第1中ホール

■主な意見

- ・花巻の北上川はいろいろな体験ができる魅力的な水辺である。
- ・観光客だけでなく住民が川をつかえることが重要。
- ・イベントの目標数については参加人数ではなく開催回数にする。
- ・現在、水上アクティビティの体験活動に参加するのは全て県外。
- ・イギリス海岸の活用が最も重要。
- ・計画を登録した後でも状況に応じて計画内容を変更することは可能である。



- ・この会議はかわまちづくりの方向性を決める会議で、ここに書いてなければ何もできないというものではない。
- ・河川のオープン化の手続きを踏んで民間活力の導入を考えていくべき。
- ・花巻には名物がないので、何かできると良い。

第2回花巻地区かわまちづくり計画策定協議会

日時 令和6年9月30日(月) 14:00～16:00
場所 花巻市役所本館 302・303会議室

- 主な意見・イベントの定義について、例えば、参加者を募る一斉清掃などはイベントに数える。
- ・イギリス海岸におけるさくら祭りの提案があるがゴミは主催者で回収するように。
- ・河川敷で今後イベントを開催する計画ならば堤防へのトイレの設置も検討する。
- ・計画の推進にあたっては、引き続き推進協議会で検討していく必要がある。



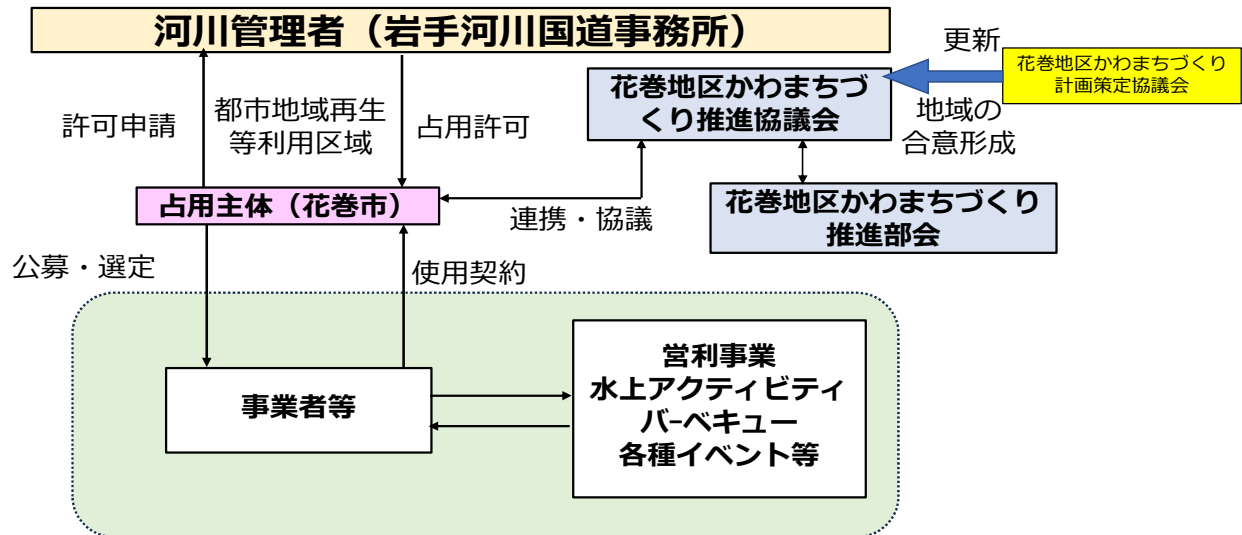
- ・イギリス海岸をアピールするアイデアについては引き続き考えることとする。
- ・計画に大きな変更が生じた場合は、対面で協議会を開催するが軽微な変更の場合は、書面開催とする。

第3回花巻地区かわまちづくり計画策定協議会

日時 令和7年5月28日(水)
場所 書面開催

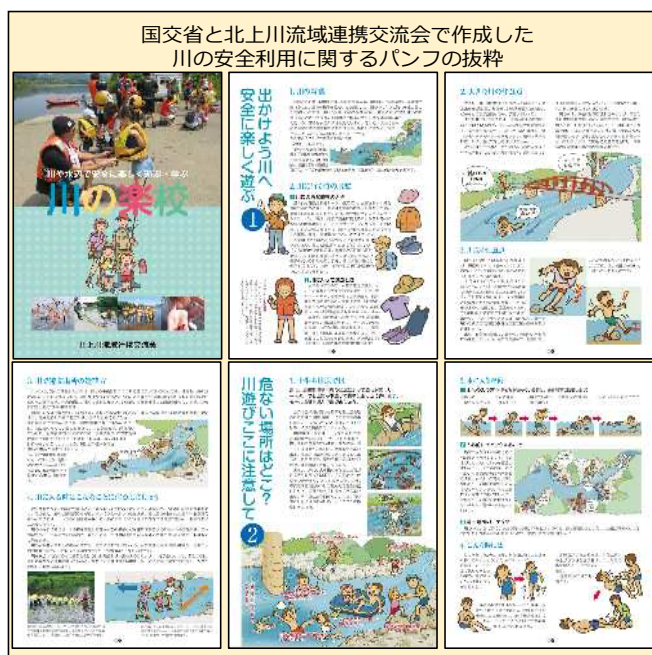
③推進体制

計画策定後は「花巻地区かわまちづくり計画策定協議会」を「花巻地区かわまちづくり推進協議会」に更新して計画策定体制を踏襲する。また、事業者等を加えて事業実施や社会実験等に対応できる体制を構築する。



5.安全な河川利用に向けた取組

- かわまちづくり計画の基本方針の一つ、水上アクティビティの主要活動団体である花巻スポーツランドでは、これまでもカヌーやボートなど多くの利用者を受け入れており、かわまち計画で船着き場を増やすことで、利用者の増加が予想されることから更なる安全管理に向けた取り組みが重要。
- 花巻スポーツランドの代表は、全国リバーマスターの資格を所有。所属する北上川フィールドライフクラブ(民間団体)では、体験活動の場で活躍できる「川の達人」の育成を目的に「リバーマスタースクール」を開講している。
体験活動の指導者・スタッフはこれらの安全講習会を受講しており、今後増えると予想される利用者に対応して増員されるスタッフに対して継続して安全管理の指導を実施していく。
- 更には、地元消防署職員が北上川フィールドライフクラブへの直接指導も行っており、安全管理は万全である(消防署職員は消防大学校で3ヶ月の訓練を受け救急救助課程を修了している)。
※施設代表も元消防職員である。
- これらの指導者の下、カヌーやボートで遊びに来る利用者に対しての安全に関する講習を行っており、今後も継続していく。



消防職員による救護講習会の状況



消防職員による救護講習会の状況



リバーマスタースクールの開講状況



リバーマスタースクールの開講状況



消防職員によるロープワーク講習状況



利用者に対する安全管理の説明状況



カヌーの技術講習も兼ねた安全講習

6.都市・地域再生等利用区域の指定に関する取組

- 都市・地域再生等利用区域の指定に関する取組については、一般公募する形で市民に限らず広くアイデアを公募して、まず社会実験の形で取り組みを始める。
- かわまちづくりの整備により更なる利活用が望める朝日橋周辺の右岸河川敷及び側帯天端での実施を社会実験の場所として一番に考える。
- 但し、花巻地区の場合は候補地が多くあるため、場所を決めずにアイデアを募集するなどの工夫を行う。

【例えば】

桜を植栽するために堤防に腹付けされた側帯を活用して
出店するなど社会実験を行う



ワークショップで提案された社会実験の案

- 船上での花見
- 花火見物
- イギリス海岸遊覧船の運航（猿ヶ石川で泥岩層を見学）
- 音楽フェス
- 水上コンサート
- バイクミーティング
- キャンプイベント
- 水鉄砲サバイバルゲーム
- 芋煮会
- 賢治をテーマとしたオリエンテーリング
- 北上展勝地まで1泊2日で下るカヌーツアー
- 日本一（規模or肉質）のバーベキュー

≪他地区の社会実験の例≫



階段護岸(花火大会)



ミュージックフェスティバル



かわまちマルシェ

7.生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に関する取組

- 花火大会の打ち上げ会場として利用されている北上川河川敷前の中州周辺の環境は、自然に形成された「瀬」と「淵」を有しており、川岸にはレキ河原が存在するなど、北上川の他の川岸にはあまり見られない貴重な環境であることから、小学生の水生生物調査に利用されるなど環境学習の場となっている。
- 花火の打ち上げ会場としても利用されている北上川河川敷前の中州については、小学校の水生生物調査のフィールドとなっている。



レキ河原の多い中州周辺の環境を利用して、毎年地元小学生による水生生物調査が継続的に実施されている。



水生生物調査時に設置される仮設の渡河施設



花火大会打ち上げ会場として利用されている中州の航空写真

ソフト施策の個別施策計画書

1.河川名	
①～⑦北上川水系・北上川・猿ヶ石 北上川・猿ヶ石川	
2.施設の実施範囲	
① 〔水上アクティビティの充実〕北上川水系北上川・猿ヶ石川 銀河大橋～花巻南大橋地区 ② 〔水辺プラザ(イギリス海岸)の活用〕北上川水系北上川 イギリス海岸地区 ③ 〔イベントの展開〕北上川水系北上川 北上川河川敷 ④ 〔体験型アクティビティの創出〕北上川水系北上川 下ノ畑周辺地区 ⑤ 〔新たな花の風景づくり〕北上川水系北上川・猿ヶ石川 銀河大橋～花巻南大橋地区 ⑥ 〔賢治を感じる散策路ネットワークづくり〕北上川水系北上川 中心市街地全域 ⑦ 〔市街地・花巻温泉郷との連携〕北上川水系北上川・市街地 花巻温泉郷～北上川全域 ○ 〔社会実験の展開(ソフト事業)〕北上川水系北上川 中心市街地全域	
3.施設概要	
① 〔水上アクティビティの充実〕北上川水系北上川・猿ヶ石川(銀河大橋～花巻南大橋地区) ■既存の活動の継続 ○ 動力船の牽引によるゴムボートを使ったガイド付き河川遊覧 ○ カヌーやボートを使った川下り(北上川・十二沼等) ○ 川沿いにあるイギリス海岸や下ノ畑など賢治ゆかりのポイント訪問(水上ルート) ○ カヌーやボートを使った水上自然観察会(猿ヶ石川合流部周辺、朝日橋周辺中洲、下ノ畑周辺) ○ ライフジャケットを着用して川流れ体験 ○ 水辺での川遊び(花巻スポーツランド周辺) ○ トラクター牽引によるトレーラー体験	 ゴムボートを使った河川遊覧
② 〔水辺プラザ(イギリス海岸)の活用〕北上川水系北上川 イギリス海岸地区 ■既存の活動の継続 ○ 宮沢賢治とイギリス海岸に関するパネル展(ドーバーファーム市民の会が年に数回実施) ○ ドーバーファームでとれた野菜の収穫祭(ドーバーファーム市民の会が毎年実施) ■新たな活動の検討(例) ○ 天文サークルの協力を得るなどして、宮沢賢治の著作に登場する星座の話を交えながら星空観察会 ○ 桜つつみを活用したさくら祭り	 賢治作品をモチーフにしたモニュメント
③ 〔イベント等の展開〕北上川水系北上川 北上川河川敷 ■開催されているイベント等の継続 (主として北上川河川敷) ○ イーハトーブフォーラム(花火大会) ○ 消防訓練 ○ デコトラ撮影会 ■新たな河川敷利用の検討(例) (主として北上川河川敷) ○ キャンプイベント ○ バーベキューイベント ○ 桜つつみを活用したさくら祭り ○ 積雪期の雪遊び	 イーハトーブフォーラム  消防訓練 

④ 〔体験型アクティビティの創出〕北上川水系北上川 下ノ畑周辺地区
〔新たな体験型アクティビティを活用できる場として『下ノ畑』を検討〕

- 北上川に隣接する「賢治自耕の地（下ノ畑）」における休憩・農業体験等の継続と新しい体験型アクティビティの検討
- 元々行われている地元小学生を対象とした収穫体験会について、参加対象を拡大して、収穫体験会でのキッチンカーなどによる試食大会の開催。
- チェアリング（簡易な可搬イスでくつろぐ）



キッチンカー（一関市）

⑤ 〔新たな花の風景づくり〕北上川水系北上川・猿ヶ石川 銀河大橋～花巻南大橋地区

〔市民による花壇の整備の継続〕

- ドーバーファーム市民の会による花巻水辺プラザの花壇の整備の継続
- 宮澤賢治「下の畑」保存会による「下ノ畑」の花壇等の整備の継続

〔水辺の花壇・アドプト制度の検討(例)〕

- 水辺に花壇を設けて管理運営する主体を募集（既存の補助制度を活用）



河川法面に花壇を設置している事例
北上川（盛岡市）

⑥ 〔賢治を感じる散策路ネットワークづくり〕

北上川水系北上川 中心市街地全域

〔「かわ」と「まち」をつなぐ散策路ネットワークづくり〕

- 桜並木の遊歩道と賢治の川沿い・中心市街地に点在する資源をつなぐネットワークづくり（朝日橋、下ノ畑等）によって、川沿いや公園の散歩、ランニング、犬の散歩等の日常利用の普及・促進を図ると同時に観光客にも楽しんでもらえるコンテンツとする。



ウォーキングトレイル事業
で整備された案内サイン

⑦ 〔市街地と花巻温泉郷との連携〕北上川水系北上川・市街地 花巻温泉郷～北上川全域

〔北上花巻温泉サイクリングロードのPR〕

- サイクリングロードをPRするマップを作成

〔花巻温泉郷と水上アクティビティをセットにした商品づくり〕

- 花巻温泉郷と水上アクティビティをセットにした理旅行商品づくりを検討

○ 〔社会実験の展開（ソフト事業）〕北上川水系北上川 中心市街地全域

- ・ 市民に限らずに民間事業者など広くアイデアを募集して、市民の憩いの場の創出や観光客・来訪者などのイベント参加など、かわとまちの融合を実現する手法の導入を検討します。
- ・ 一般的に占用場所を決めてからアイデアを募集することが多いが、花巻市の場合はイギリス海岸、朝日橋周辺など候補地が多くあると想定されるため、場所を決めずにアイデアを募集することも考えられます。
- ・ かわまちづくりを推進する協議会等の組織で審査を行い実現すべきアイデアを選定します。

＜アイデアの例（ソフトのアイデア）＞ワークショップより

船上での花見・花火見物、イギリス海岸遊覧船の運航、音楽フェス、水上コンサート、バイクミーティング、キャンプイベント、水鉄砲サバイバルゲーム、芋煮会、賢治をテーマとしたオリエンテーリング、北上展勝地まで1泊2日で下るカヌーツアー、日本一（規模or肉質）のバーベキュー



1.河川名
北上川水系北上川
2.整備範囲
北上川水系北上川 銀河大橋～花巻南大橋

■水辺プラザ(イギリス海岸)の
利便性向上
○階段護岸の改良(国)
○トイレの高質化(市)
○イギリス海岸の見える化(市)

■北上川河川敷の利用環境充実
のための整備
○坂路拡幅(国)
○観覧席となる階段護岸の拡幅(国)
○河川敷の管理用道路の舗装(国)
○常設駐車場の整備(市)
○堤防上へのトイレの設置(市)
○広場の整備(市)

■賢治を感じる散策路
ネットワークづくり
○案内板の整備(市)

■休憩地点「下ノ畑」の施設整備
○船着き場機能付きの低水護岸の整
備(国)
○ポケットパーク施設整備(市)

■社会実験の展開(市・民間事業者)
○カフェの設置(イギリス海岸など)
○水辺プラザ周辺の空き地の活用
(キャンプ場、ドッグラン等)

■スタート地点！
銀河大橋たもとの整備
○船着き場機能付きの低水
護岸の整備(国)
○大型バス用駐車場及び転
回場の整備(市)

■ゴール地点！花巻スポーツランド
近隣の船着き場周辺の整備
○管理用通路舗装(国)
○水上アクティビティの体験活動を支援す
る施設の整備(市)

計画対象範囲

半径約3km

花巻IC

花巻JCT

花巻空港

花巻空港IC

新花巻駅

銀河大橋

イギリス海岸

北上川河川敷

下ノ畑

花巻スポーツランド

花巻南大橋

豊沢川

花巻駅

JR東北本線

3.整備内容

北上川水系・北上川

基本方針①水上アクティビティの充実・基本方針、④体験型アクティビティの創出に関連する整備

〔整備概要〕

「～見どころいっぱい！約2時間の川下り～」

①銀河大橋のたもと

花巻市の北上川において川下りのスタート地点として、現状で最も利用されている『銀河大橋のたもと』をスタート地点とするため、船着き場機能付きの低水護岸を整備。

②泥岩層観察ポイント

銀河大橋をスタートした川下りは、途中、猿ヶ石川の合流点や瀬川合流点付近で、イギリス海岸で有名な泥岩層を観察することが出来る。

③水辺プラザ下流の船着き場

水辺プラザとして整備されたイギリス海岸近辺には、既設の船着き場が有り、ここで一度下船して水辺プラザの観光をすることが出来る。

④下ノ畑

更に下流へ下ると『下ノ畑地区』があり、ここに船着き場機能付きの低水護岸を整備することで、休憩出来る立ち寄りポイントとなる。ここでは花巻市が四阿やベンチなどを整備することでポケットパークのような環境としたいと考えている。また、賢治自耕の地『下ノ畑』としての観光も可能である。

⑤花巻スポーツランド近辺の船着き場

川下り計画の最後のポイントである花巻スポーツランド付近の船着き場で下船し花巻市で整備する予定のトイレ・シャワーなどの休憩施設で川下りの疲れを癒す。

(1)花巻市の北上川での川下り計画
～かわまちづくりでの整備内容～

【整備①】銀河大橋たもと

スタート地点の施設整備

河岸には船の上下架と乗降りがスムーズ且つ安全に出来るよう船着き場を整備。大型バス複数台での来訪しても錯綜しないよう転回場と駐車場も整備。

【整備②】下ノ畑周辺

立ち寄り地点の施設整備

河岸には船の上下架と乗降りがスムーズ且つ安全に出来るよう船着き場を整備。

【整備③】花巻スポーツランド

周辺

ゴール地点の施設整備

川下りのゴール地点には既設の船着き場を利用する。川下り後は川下りの疲れを癒すためのシャワー・更衣室・トイレなどを整備。アクセス通路としても利用できる管理用通路の舗装も行う。

現在も受け入れている
修学旅行生
などの促進・多様な
利用者層の
取り込みによる活性化



〔2〕スタート地点！銀河大橋のたもとの整備【国・市】

【整備①】船着き場機能付きの低水護岸の整備(国)

- 河川管理者が行う水面からの河川巡視を行うにあたり、この箇所は、河岸が緩やかに水面に擦り付いていながら、水際はある程度の水深が確保されている。この近辺では他の箇所比べると巡視用ボートの設置、接岸及び巡視員の乗降に長けていることから河川巡視強化のための船着き場施設の設置が望まれている。
- 現状の水上アクティビティのスタート地点として最も活用されている銀河大橋のたもとに船着き場を整備することで、少人数から団体までの利用者に対して、安全でスムーズな船への乗降が可能となる。
- ここから出航することで、すぐ下流にある猿ヶ石川合流点の泥岩層露出部や、賢治が名付けたことで有名なイギリス海岸を見ながら川下りを行えるため、スタート地点として理想的である。



スタート地点付近の位置図



船着き場のイメージ



船着き場機能付きの低水護岸整備イメージ

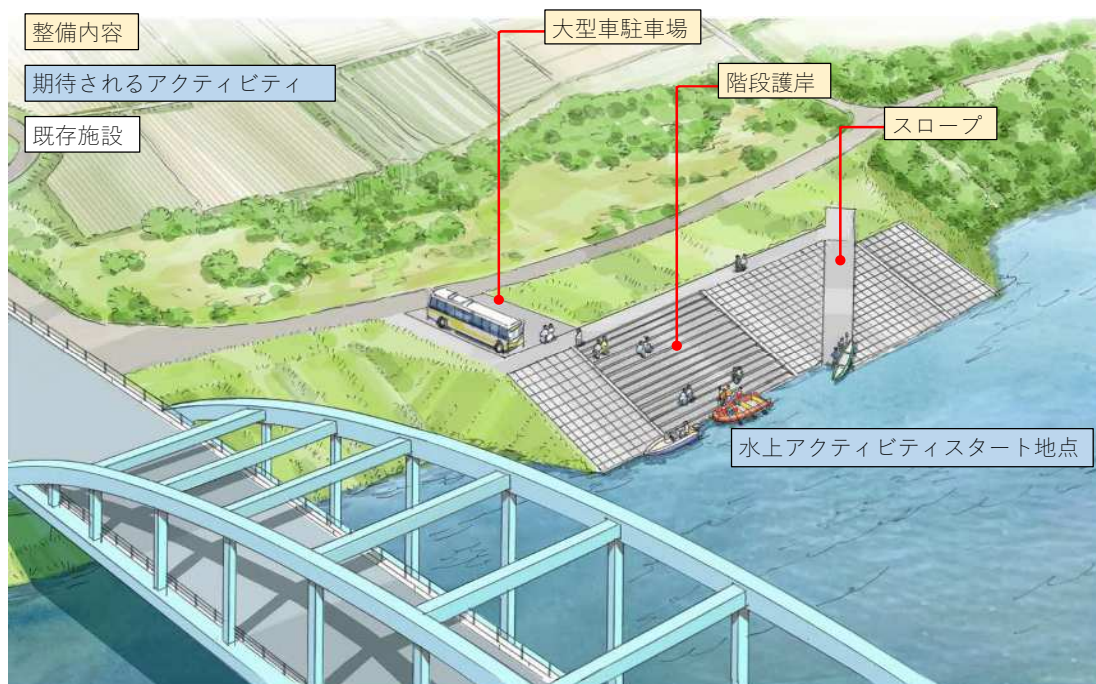
【整備②】大型バス用駐車場及び転回場の整備(市)

- 周辺の河川敷には、既存のアクセス動線があり大型バス複数台分の駐車場を整備可能である。



駐車場整備のポテンシャルが高い候補地(転回スペースも十分確保できる)

施設名称	場所	目的		諸元
		治水上の必要性	河川利用上の安全安心に関する必要性	
低水護岸 (船着き場機能付き)	北上川右岸 銀河大橋のたもと	巡視船による河川巡視の強化(当該地区周辺河岸は陸路から河川へのアクセス出来ない箇所が多い)	舟の上下架及び乗船客が安全に乗降出来るよう坂路と階段護岸を整備	護岸延長 L≒45m



銀河大橋のたもとの整備イメージ図

(3) 休憩地点「下ノ畑」の施設整備【国・市】

【整備①】船着き場機能付きの低水護岸(国)

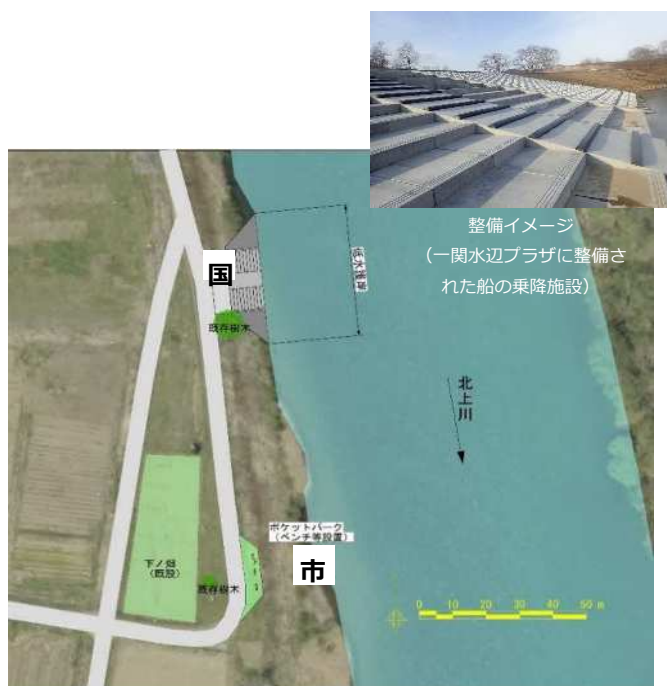
- 前述した銀河大橋のたもとと同様、本箇所は巡視船の設置、接岸及び乗降りに長けており河川巡視強化のための船着き場設置が望まれている。
- また上陸すれば重要な文化資源である賢治自耕の地『下ノ畑』があり、河川洗堀による消失が無いよう河川管理施設の整備が求められている。
- 2時間の川下りルートの途中にある、賢治自耕の地「下ノ畑」を休憩地点として整備する。



「下ノ畑」で栽培している野菜



宮沢賢治設計の花壇「涙ぐむ目」



施設名称	場所	目的		諸元
		治水上の必要性	河川利用上の安全安心に関する必要性	
低水護岸 (船着き場機能付き)	北上川右岸 下ノ畑地区	巡視船による河川巡視の強化 重要な文化資源である「下ノ畑」全面の河岸洗堀防止のため	川下りの途中の休憩ポイント。 舟の上下架及び乗船客が安全に乗降出来るよう坂路と階段護岸を整備	護岸延長 L≒45m

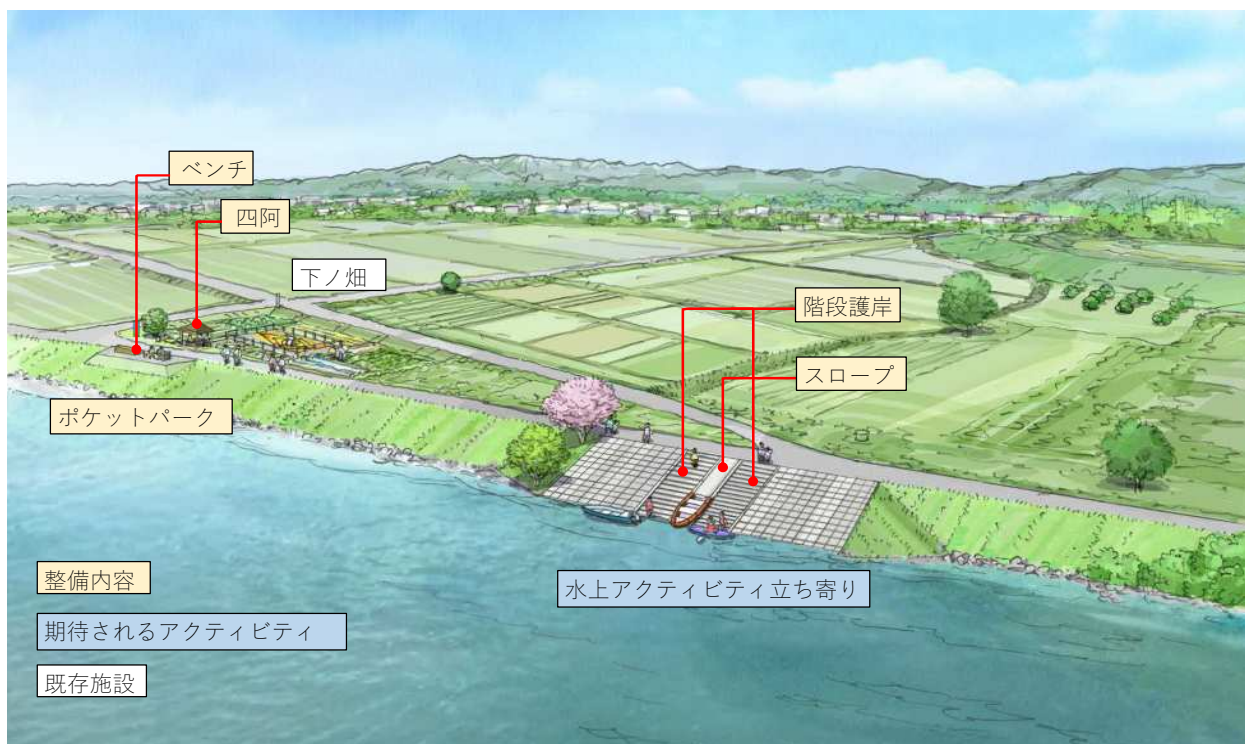
【整備②】ポケットパーク施設整備(市)

- 下ノ畑に北上川を眺めながら休息可能なポケットパークを設けることで、観光立ち寄り地点としての魅力を向上させることができる。
- 近隣には賢治関連の観光資源が多数あり観光も可能。
- 既存の水上アクティビティに大きな魅力を付加させることができる。



(イメージ)水辺を見ながら座れるベンチを設置

「下ノ畑」周辺には賢治が暮らした「羅須地人協会跡地」、「雨ニモマケズ詩碑」などがあり、**これらをPRして観光資源としてアピール**する他、賢治も見ていたであろう北上川や岩手山・早池峰山を眺望できる場所としたい。



「下ノ畑」の施設整備のイメージ図

(4) ゴール地点！花巻スポーツランド近隣の船着き場周辺の整備【国・市】

【整備①】管理用通路舗装(国)

- 船着き場から休憩施設までのアクセス通路として、既往の管理用通路を利用することから利便性を向上させるためにアスファルト舗装を行う。



管理用通路の未舗装の坂路

施設名称	場所	目的		諸元
		治水上の必要性	河川利用上の安全安心に関する必要性	
【整備①】 管理用通路	北上川右岸 花巻南大橋 下	管理用車両の通路、巡視ルートの強化	既設の船着き場と整備予定のトイレなどの便益施設の間を歩行者が安全に通行できるよう舗装整備	W≒5.0m（現況の未舗装道路幅相当）、 L≒140m

【整備②】水上アクティビティの体験活動を支援する施設の整備(市)

- 現状、川下りのゴール地点として、花巻スポーツランド近辺にある船着き場が最も利用されている。
- 花巻地区全体の水上アクティビティの利便性と魅力を向上させ、団体客をはじめ多様な利用者層の招致を進めるためには、スタート地点の船着き場の整備と併せて、ゴール地点周辺についても受入れ施設を充実させることが重要である。
- 川下り後に利用者が疲れた体を癒せるよう、シャワー室・更衣室・トイレなどの休憩施設を整備する(花巻市)。



シャワーの整備イメージ



管理用通路舗装、便益施設の整備イメージ

基本方針②水辺プラザ(イギリス海岸)の活用

【整備①】階段護岸の改良(国)

- ステップの段差が大きい水辺プラザの階段護岸については、全ての利用者が使いやすいような階段護岸の改良を行う。
- 同時に出水時に伴う河岸洗掘防止も図ることで、水辺プラザ周辺の環境を保持するために低水護岸の補強を行うものである。

施設名称	場所	目的		諸元
		治水上の必要性	河川利用上の安全安心に関する必要性	
階段護岸	北上川右岸 支川瀬川 (花巻水辺プラザ)	流水による河岸洗掘防止 (低水護岸の補強)	施設利用者が安全且つ快適に利用出来るよう階段護岸改修を行う	護岸延長 L≒130m (A≒3,000m ²)

【整備②】トイレの高質化(市)

- 水辺プラザ隣の森公園、イギリス海岸付近さわやかトイレについて、和式トイレの洋式化を行う。

【整備③】イギリス海岸の見える化(市)

- 泥岩層が陸上から見える場所として瀬川合流部(湧水時のみ)、水上からアクセスして上陸できる場所として猿ヶ石川の北上川合流部付近があり、これらをうまく活用して、写真撮影が出来るようなスポットを整備したり、案内板を整備する。



泥岩層が観察できるスポットの整備



基本方針③イベントの展開

【整備①】坂路拡幅(国)

- 河川巡視時に使用している北上川河川敷へ降りる坂路については、従来から幅員が狭く、災害時の緊急車両等の進入については困難が生じている。
- 一方で、北上川河川敷(朝日橋～朝日大橋)では花火大会や消防・水防演習など、多くのイベントが行われているが、幅員が狭いことから演習などに使用する災害車両はもちろん、一般車両についてもすれ違いが難しく坂路拡幅の要望が出ている。
- 以上のことから、北上川河川敷への進入路である幅員が狭い坂路についての拡幅を行う。



坂路の幅が狭い

【整備②】観覧席となる階段護岸の拡幅(国)

- 本箇所は、河川改修計画上では堤防保護のための高水護岸を整備する一連区間の一部である。本箇所はかわまちで計画されているとおり、利便性からの整備が求められており、一部先行して高水護岸を整備することが治水・環境の両面からも優位となる。
- 堤防法面の一部に既設の階段護岸があり、階段部に腰掛けて観覧が出来る仕様となっているが、花火大会などのイベント時には観覧席としては幅員が十分でないという理由(消防からの指導)から、観覧席としては利用されていない。(避難路として使用されている)
- 整備する栈敷席(有料席)は先着順であり、瞬く間に満席となる。そのため、河川敷で行われる大きなイベントの花火大会や消防演習の他、整備後に計画されている市街地活性化の社会実験の拡大などの観覧席としても利用できる階段護岸を整備することが、各種イベントへの展開にも繋がる。
- 令和6年度、花火大会の来客数約2万4000人に対して観覧席は1700人分であり、可能な限りの観覧席として利用できる階段護岸の拡幅を行う。現計画では300mの階段護岸拡幅を計画しており、約8,000人の受入れが可能である。



既設の階段護岸



現状の花火大会有料栈敷席



会場入口付近での立ち見客



堤防上は観覧禁止だが人が滞留

【整備③】河川敷の管理用通路の舗装(国)

- 日常利用を促進するために、河川敷の管理用通路を舗装する。
- 河川巡視の通路を整備することによる河川巡視強化が望まれている。

【整備④】常設駐車場の整備(市)

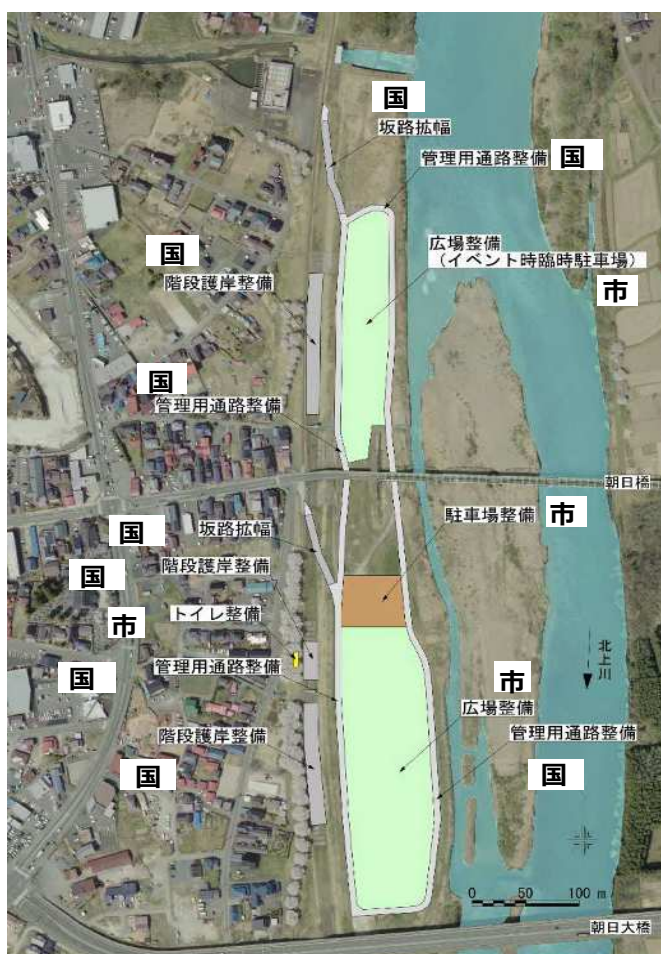
- 朝日橋から河川敷に降りる坂路の下に日常利用可能な駐車場を整備する。

【整備⑤】堤防上へのトイレの設置(市)

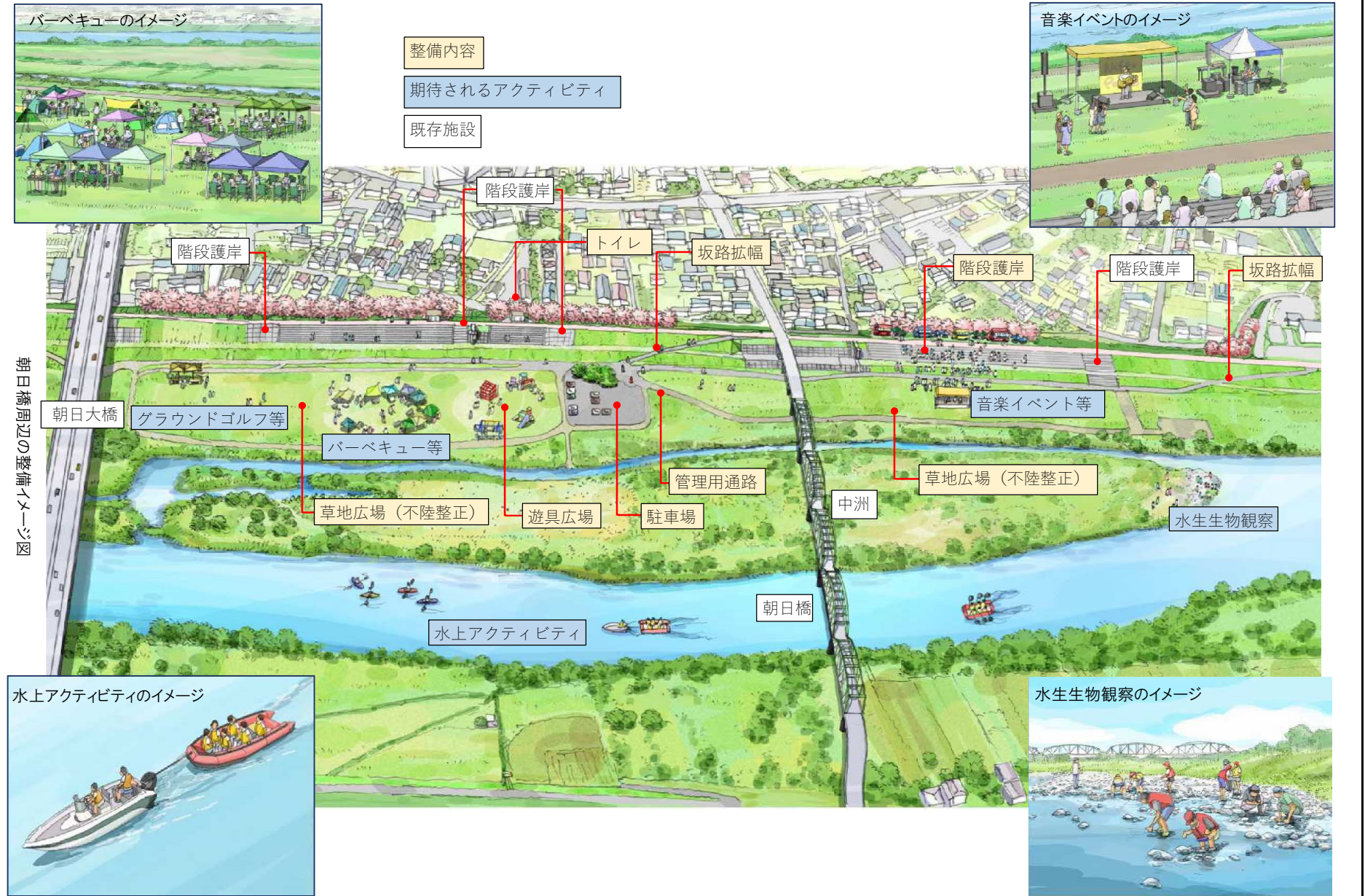
- イベントで河川敷を使うことを考慮して、桜づつみの腹付け盛土部にトイレを設置する。

【整備⑥】広場の整備(市)

- 朝日橋上流河川敷はイベントを行う際の臨時駐車場となるように不陸整正を行い、普段は草地広場として活用。
- 朝日橋下流河川敷についても不陸整正を行い、遊具などの設置について検討して子供から大人まで日常的に利用できる広場として活用する。
- かわまちづくりでトイレや草地広場ができて、グラウンドゴルフやバーベキューなどの場として利用できることを広報やホームページなどで宣伝して日常的な利用促進を図る。



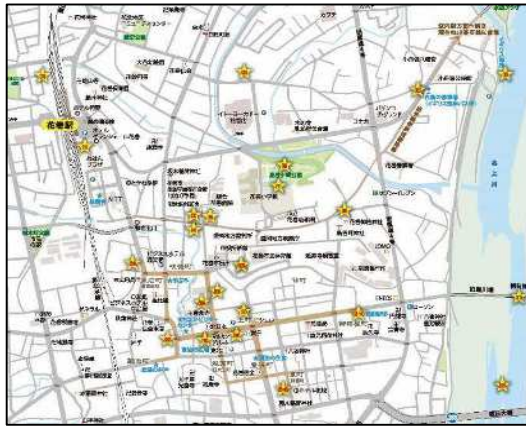
施設名称	場所	目的		諸元
		治水上の必要性	河川利用上の安全安心に関する必要性	
【整備①】 坂路	北上川右岸 朝日橋上下流	河川管理者が管理用通路として利用しているが、幅員が狭く、有事の際の災害対策車などの通行が困難のため坂路の拡幅が必要	河川敷でのイベントの際の、唯一の進入路であるが、幅員狭が狭くすれ違いが困難。歩行者等も利用するため、坂路の拡幅が必要	坂路延長 L=220m (W=4m)
【整備②】 階段護岸	北上川右岸 朝日橋上下流	河川改修計画で計画されている高水護岸	花火大会等のイベントにおける観覧席としての利用	護岸延長 L=300m A=4,000m ²
【整備③】 管理用通路	北上川右岸 朝日橋上下流	河川巡視の通路を整備することによる巡視強化	散歩・ジョギング等の利用の際のコースとして利用可能	管理用通路延長 L=2,500m



基本方針⑥賢治を感じる散策路ネットワークに関連した整備

【整備①】案内板の設置(市)

- 朝日橋が賢治の代表作「銀河鉄道の夜」に登場する橋のモデルになっているといわれている。
既存のウォーキングトレイル事業も活用しながら、それらを伝える案内板を設置する。
- 「かわ」と「まち」を繋げるような、賢治の童話ゆかりの場所をめぐるコースを下記の資料などを参考に作成する。



賢治メルヘンの街・花巻ガイドブック
(花巻商工会議所)



ウォーキングトレイル事業の活用



「銀河鉄道の夜」原作：宮沢賢治 作画：ますむらひろし
発行：風呂猫

基本方針 ◆社会実験の展開

- 市民に限らずに民間事業者など広くアイデアを募集して、市が占有を行った上で、市民自身や民間事業者が主体となってアイデアを実現する手法の導入を検討する。
- 一般的に占有場所を決めてからアイデアを募集することが多いが、花巻市の場合はイギリス海岸、朝日橋周辺など候補地が多くあると想定されるため、場所を決めずにアイデアを募集することも考えられる。
- かわまちづくりを推進する協議会等の組織で審査を行い実現すべきアイデアを選定する。

＜アイデアの例（ハードのアイデア）＞ワークショップより
カフェの設置／水辺プラザ周辺の空き地の活用（キャンプ場、ドッグラン等）

4.整備の実現方策

整備実現のための工程を下記に示す。早々に効果を発現できそうな箇所を優先的に整備を進めるが、工事量や工事費については毎年均等となるよう計画する。なお、表の順番は上流から整備地区を並べている。

〔整備工程〕

箇所	事業者	事業内容	ハード整備期間				
			R8	R9	R10	R11	R12
銀河大橋のたもと	河川管理者	船着き場				※1	
	花巻市	大型駐車場・転回場					
水辺プラザ (イギリス海岸含む)	河川管理者	階段護岸改良			※2		
	花巻市	和式便所の洋式化					
	花巻市	泥岩層が陸上から見える場所のスポット整備					
北上川河川敷	河川管理者	階段護岸				※3	
	河川管理者	坂路(拡幅)				※4	※5
	河川管理者	管理用通路舗装					
	花巻市	駐車場					
	花巻市	広場整備					
	花巻市	堤防上のトイレ整備					
下ノ畑	河川管理者	船着き場				※6	
	花巻市	四阿、ベンチなどポケットパーク整備					
花巻スポーツランド 近隣	河川管理者	管理用通路舗装		※7			
	花巻市	水辺アクティビティの体験活動を支援する施設の整備					
全箇所共通	花巻市	賢治を感じる散策路ネットワーク案内板等					

R13～17 モニタリング

〔施工手順に関する補足(国整備)〕

- ※1 現在利用している自然護岸では乗船の際に不便であるため。
- ※2 他の整備箇所に比べて知名度が高く数多くの観光客が来るため。
- ※3 河川敷で開催されるイベント利用時の利便性向上のため。最も効果が発揮しやすい。
- ※4 河川敷で開催されるイベント利用時の利便性向上のため。最も効果が発揮しやすい。※3の現場との錯綜を考慮し、優先順位を2番目とした。
- ※5 階段護岸及び坂路拡幅後。
- ※6 新たな水上アクティビティ創出のため。
- ※7 砂利舗装の管理用通路。河川巡視のほか、一般の方も使用している通路。急勾配のため、降雨など悪天候時には通行に支障を来している。

5. 多自然川づくりに関する事項

かわまちづくりの対象としている北上川は、中心市街地に位置しているが、一部根固め工がある程度で、ほとんどの区間が自然のままとなっており、この自然をできるだけ保全する。

階段工の整備範囲は、船着き場の機能を確保する必要最小幅とし、上下流は現況の河岸（覆土タイプの景観型護岸が埋設）を保全する計画とする。また、階段工の護岸及び根固めブロックには水生生物に適応した環境型ブロックの採用を検討する。

また、朝日橋周辺の中洲は貴重な水生生物観察の場となっており、観察会等が開催されていることから、この保全にも留意する。



ほとんどの区間が自然のままとなっており、この自然をできるだけ保全する



貴重な自然観察の場となっている中洲を保全する

6. その他特筆すべき事項

花巻市では中心市街地活性化の取組として、これまで41回に渡って「どでびっくり市」が開催されており、また、2023年から「花巻中央エリア社会実験」として、市民公募によるアイデアを行政等が支援する形で様々な取り組みを実施している（まちなかBBQ、フリーマーケット、ストリートハンドボール等）。このような取り組みを継続して、広く河川空間を活用したアイデアを募集し、社会実験を行っていく。



41回に渡って開催されている「どでびっくり市」のチラシ



まちなかBBQ



道路ペイント



花巻おもちゃフェスティバル

2023年から実施されている花巻中央エリア社会実験

維持管理計画書

1. 持続的な有効利用に関する計画			
①「かわまち」を地域のブランドイメージに定着させる - 宮沢賢治・花巻温泉郷など地域の観光ポテンシャルを有効利用したソフト施策の実施による魅力向上と地域のブランドイメージに新たに水辺を加えることで、地域や観光客等にとって魅力的なかわまちづくりを目指します。 ②適切な役割分担により継続的な管理運営を行う - 河川管理者(国)、市、民間事業者、施設利用者等が適切な役割分担で継続的に維持管理をしていくことを目指します。 - 計画期間終了後も「(仮)花巻地区かわまちづくり計画推進協議会」を継続的に開催して、管理運営に関する課題の解決や、関係者間の情報の共有を図ります。			
2. 維持管理計画			
- 河川管理者(国)、市、民間事業者、施設利用者等が適切な役割分担で継続的に維持管理を実施していく。 - 整備した施設等は市で占有して通常時の維持管理を行っていく(出水等による大きな損傷時には国と市が協議して補修を行う。) - 計画期間終了後も「花巻地区かわまちづくり計画推進協議会」を継続的に開催。管理運営に関する課題の解決や、関係者間で情報共有を図る。			
維持管理の役割分担			
場所	事業者	事業内容	維持管理に関する役割分担
銀河大橋のたもと	河川管理者	船着き場	国:破損等に対する補修・安全管理 市:草刈り・清掃(実務は施設利用者)
	花巻市	大型駐車場・転回場	市:維持管理全般
水辺プラザ周辺 (イギリス海岸含む)	河川管理者	階段護岸	国:破損等に対する補修・安全管理 市:草刈り・清掃
	花巻市	和式便所の洋式化	市:維持管理全般
	花巻市	泥岩層が陸上から見える場所のスポット整備	市:維持管理全般
北上川河川敷	河川管理者	階段護岸	国:破損等に対する補修・安全管理 市:草刈り・清掃(実務は施設利用者)
	河川管理者	坂路	国:破損等に対する補修・安全管理
	河川管理者	管理用通路	国:破損等に対する補修・安全管理 市:草刈り・清掃(実務は施設利用者)
	花巻市	駐車場	市:維持管理全般
	花巻市	広場	市:維持管理全般
	花巻市	堤防上のトイレ	市:維持管理全般
下ノ畑周辺	河川管理者	船着き場	国:破損等に対する補修・安全管理 市:草刈り・清掃(実務は施設利用者)
	花巻市	四阿、ベンチなど ポケットパーク	市:維持管理全般
花巻スポーツランド 周辺	河川管理者	管理用通路	国:破損等に対する補修・安全管理 市:草刈り・清掃(実務は施設利用者)
	花巻市	水辺アクティビティの体験活動を 支援する施設	市:維持管理全般
全箇所共通	花巻市	賢治を感じる散策路ネットワーク 案内板	市:維持管理全般